

カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表のことで、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかが示しています。

このカリキュラムマップにより、学修内容の順次性や科目間の関連性が一目でわかり、自らの学修内容を容易に把握することができます。

教養教育科目 カリキュラムマップ

①教養部における「人材の養成・教育研究上の目的」（P.42参照）に則り、教養教育のカリキュラムは、大学教育の土台となる「基礎学力の育成」、ならびに多様な知識と価値観および深い洞察力を涵養する「リベラル・アーツの修得」を柱とする。②「基礎学力の育成」においては、情報収集力や言語表現力などの基礎学習力を培い、さらに課題発見力、論理的思考力、問題解決力、自己表現力を育成するために多彩な教育科目を展開する。③「リベラル・アーツの修得」においては、新たな価値の創造と知の多様性に対応できる人材の養成を目指して、人文科学・社会科学・自然科学の広範な領域、及び学際的なテーマを網羅した多種多様な科目を開講する。

教養教育科目 カリキュラムマップ

授業科目名 科目ナンバ	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
宗教学Ⅰ B111-113-01	「建学の精神」を学び、また、多様な宗教の見方・捉え方（分類法など）や、世界各地の宗教の概要・歴史を学習する。	宗教を客観的に学ぶことで高い倫理性を持った人間性を獲得し、また、世界各地の宗教を学ぶことで多様な文化・価値観を理解する。	◎	◎	◎	○		○	○	○	
宗教学Ⅱ B111-113-02	インドで生まれた仏教・禅の教え（世界観・価値観）の基本を学び、世界各地へ伝わった歴史を学ぶ。	仏教の智慧を学ぶことで、課題発見力や問題解決力を養い、また、慈悲を学ぶことで、他者との協調性を養い、価値観の多様化した現代においても力強く生きられる柔軟性を得る。	◎	◎	◎	○		○	○	○	
教養セミナー 「学問の発見」Ⅰ B132-841-01	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部『大学で学ぶために』を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
教養セミナー 「学問の発見」Ⅱ B132-841-02	教員の専門性を生かしながら、学生の学びへの姿勢を喚起させる。そのため、愛知学院大学教養部が編纂した教養セミナーハンドブック第Ⅰ部『大学で学ぶために』を共通テキストとして使用する。	リベラル・アーツへの目覚めを喚起し、高校までの受動的な学習形態から、大学での能動的な学習形態へ導き、大学で学ぶための心構えを意識させることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
教養セミナー 「学問の発見」Ⅲ B232-841-03	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
教養セミナー 「学問の発見」Ⅳ B232-841-04	「教養セミナーⅠ・Ⅱ」の発展系の授業として「学問の発見」をより深く考える科目であり、各担当教員の専門性を活かした形での授業として少人数のセミナー形式で授業が行われる。	各担当教員による幅広い分野の専門性を活かした科目として、学問に対する好奇心や探究心などをより一層高めることを目標とする。	○	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
心理学Ⅰ B131-285-01	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	○	○	○			◎	○	◎	○
心理学Ⅱ B131-285-02	心理学は、心の営みを科学的に解明しようとする学問分野で、認知、生理、発達、教育、社会、臨床など様々な領域から成り立っている。各領域の代表的な知見に触れながら、基本的な心の仕組みと働きを学ぶ。	様々な実証的研究知見に基づき、心の仕組みや働きを理解し、自己の心の働きや行動について内省したり、自己や他者の心の働きに関心向けたりすることにより、良好な人間関係を構築できるようになること。	○	○	○			◎	○	◎	○

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
哲学Ⅰ B131-111-01	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	○	△	△		○	◎	◎	△	
哲学Ⅱ B131-111-02	哲学史、倫理学、社会哲学、科学哲学、等々、哲学という広範な学問領域の中から分野を絞り込んで概説する。各々の分野を通して、哲学という学問一般に特徴的な思考様式や方法論の理解・習得を目指す。	言葉＝ロゴスによる説得という哲学的な思考様式の特徴を理解すると同時に、その思考様式を身の周りの具体的な問題に適用できる応用力を養う。	○	△	△		○	◎	◎	△	
論理学Ⅰ B131-111-11	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。					○		◎	△	
論理学Ⅱ B131-111-12	現代記号論理学を中心に、命題論理と述語論理の基礎を学ぶと同時に、それを一つの素地にして形成された言語哲学やクリティカル・シンキングといった、発展的・実践的分野についても一定の理解を得る。	命題論理と述語論理の基本となる考え方を学んで、人間の思考における論理の役割を理解すると同時に、問題演習等を通して論理的な推論実践の技術を磨く。					○		◎	△	
文学Ⅰ B131-135-01	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。		◎		△	○	○	◎		
文学Ⅱ B131-135-02	日本語・日本文学について歴史的・文化的・社会的側面から解説し、様々な言語事象の背後にある原理や、古今の文学作品に描かれている諸問題について、受講生が新たな視点で理解できるよう指導する。	日本語・日本文学に関する基礎学力、日本文化をはじめとする多様なものごとを論理的に分析する力、多様な文化及び価値観について自発的に課題を立てて考える力、を修得することを目標とする。		◎		△	○	○	◎		
美術Ⅰ B131-116-01	美術の歴史、人物、環境等を通し現代社会の美術の見方、考え方を学び美術の基本姿勢を修得させていく。	美術の基本的な姿勢や見方を修得する。個々の美術観を築き表現法を見出ししていく。	◎	○	○	△	○	○	○	△	◎
美術Ⅱ B131-116-02	美術の基本理念に基づき多様に広がる美術事情を探り自己の美意識を広げ表現力を高めていく。	美術の理念を深め自己の造形に表現力を加え、美術の基礎の確立を計る。	◎	○	○	△	○	○	○	△	◎
法学Ⅰ B131-211-01	法学全般の基礎、及び憲法の基礎について講義する。	法学全般に通じる基本原理、及び憲法の基本原理を理解する。	○	△		○	○	○	◎	◎	
法学Ⅱ B131-211-02	民法の基礎について講義する。	民法の基本原理を理解する。	○	△		○	○	○	◎	◎	
政治学Ⅰ B131-222-01	民主主義・自由主義などの原理、執政制度・選挙制度などの政治制度を学ぶ。	政治の基本的原理や制度を理解する。	○	○		○	○	○	◎	◎	
政治学Ⅱ B131-222-02	日米英独仏など各国の政治を比較して学ぶ。国際政治の仕組みについて学ぶ。	各国政治および国際政治の基本を理解する。	○	○		○	○	○	◎	◎	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
社会学Ⅰ B131-261-01	本講義は、具体例を挙げながら、社会学が考えてきたこと、明らかにしてきたことを確認し、社会学の概念や方法を理解していきます。また、それらの知識を用いて、現代社会の諸課題についても考えます。	社会学の「問い」、「概念」、「方法」を理解すること。そして、社会的思考を用いて、自ら現代社会の諸課題の様相について説明できるようになること。	○	◎		△		○	◎	○	
社会学Ⅱ B131-261-02	本講義は、社会階層、文化集団、コミュニティ等を取り上げ、社会的な視点からそれらの集団の特徴を理解していきます。そして各集団と現代社会の諸課題の関連についても考えていきます。	各集団の特徴を理解すること。そして、現代社会の諸課題が各集団のなかでなぜ発生し、どのように顕在化していくのかについて説明できるようになること。	○	◎		△		○	◎	○	
教育学Ⅰ B131-271-01	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			○		◎	◎	○	○
教育学Ⅱ B131-271-02	教育学は、人がよりよく生きるために欠かせない「教育」を対象とする学問である。その特徴は哲学、歴史学、社会学、行政学などの学問を基礎とした学際的な性格にあり、本授業では教育を様々な角度から考察する。	教育学の基礎的知識や概念を理解できるとともに、その基礎知識や概念を活用して現代の教育状況について多面的に考察でき、さらに自らが社会の形成者として教育についての意見を持つことができることを目指す。	○			○		◎	◎	○	○
歴史学Ⅰ B131-161-01	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
歴史学Ⅱ B131-161-02	文献資料や映像資料を駆使して、日本及び外国の歴史に関する講義を行っている。また受講生に対して、授業内では講義内容に関する感想を書かせたり、定期試験では主に論述問題を課したりしている。	歴史における文化の形成を広い視野に立って考察することによって、歴史的思考力を培い、日本や外国の成立の歴史的過程と特質を把握させて、近代市民としての自覚を深める。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
地理学Ⅰ B131-181-01	地理学の基礎的な知識を、国内外の社会の中にみられる具体的な実例を挙げながら紹介する。社会や自然を構成する多様な要素を取り上げ、それらの相互関係や、分布の差異を示すことで、地理学的なもののとらえ方を身に着ける。	社会の中にみられる諸現象を地理学的な観点から説明することができる。世界あるいは日本の中にみられる多様性と地域性について理解することができる。	△	◎	○	○		○	◎	○	
地理学Ⅱ B131-181-02	地理学が扱う多様な課題の中から特定のものを取り上げ、その問題を関連する事象とともに追究する。このことによって、取り上げる課題についての理解を深めるとともに、地理学的なもののとらえ方についても深化させる。	取り上げる地理学的課題についての基礎的な知識事項を述べることができる。取り上げる地理学的課題を通じて、世界・日本の社会・自然のあり方について、論理的な考察が行えるようになる。	△	◎	○	○		○	◎	○	
数学Ⅰ B131-323-01	数学の問題を解くことを通して、数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。						○	◎	◎	△
数学Ⅱ B131-323-02	数学の問題を解くことを通して、より進んだ数学的な手法と論理的思考を学ぶ。	社会で生きていく上で必要な、より進んだ数学的手法と論理的思考の習得を到達目標とする。						○	◎	◎	△

教養教育科目　カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
統計学Ⅰ B131-603-01	統計の問題を解くことを通して、統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ統計の手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎	
統計学Ⅱ B131-603-02	統計の問題を解くことを通して、より進んだ統計的な手法と統計的な論理的思考を学ぶ。	社会生活に役立つ、より進んだ統計の手法と統計的な論理的思考の習得を到達目標とする。				◎		○	○	◎	
物理学Ⅰ B131-420-01	歴史を辿ったり、身近な現象を題材にしたりしながら、生活や社会に密接に関わっている『物理』を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。						△	◎	○	
物理学Ⅱ B131-420-02	歴史を辿ったり、身近な現象を題材にしたりしながら、生活や社会に密接に関わっている『物理』を学ぶ。	なぜ？という疑問を持ち、それを解決するために論理的に考える力を身につける。						△	◎	○	
化学Ⅰ B131-420-11	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。						△	◎	○	
化学Ⅱ B131-420-12	化学の基礎を学びながら、日常生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。「なぜこうなるの?」といった好奇心から出発して、化学の面白さを伝えます。	素朴な疑問をもとに、文系の学生にとっての化学に対する苦手意識を軽減します。化学的なモノの考え方を修得し、科学リテラシーや論理的思考力を身につけることを目標とします。						△	◎	○	
生物学Ⅰ B131-420-21	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				△		○	◎	◎	
生物学Ⅱ B131-420-22	身近なできごとやさまざまな社会問題と生物学の関わりを知り、生物を理解するために必要な教養レベルでの基礎的知識と概念を学ぶ。	社会生活の中で直面する様々な医療問題や環境問題などを正しく理解し、また自分で考えるために必要な基礎的な生物学的知識を身につける。				△		○	◎	◎	
仏教と現代社会Ⅰ B231-112-01	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる	○	◎	◎	○		○	○	○	
仏教と現代社会Ⅱ B231-112-02	現代社会の諸問題に関する仏教からの提言	仏教的価値観を対立軸として、現代社会の価値観や諸課題を考える力を育てる	○	◎	◎	○		○	○	○	
禅と人間Ⅰ B231-112-11	禅の概要および禅宗の特徴を概説し、禅語（公案）を通じて禅の思想を解説するとともに、坐禅の実習によって禅の修行を体感する	坐禅や公案の学習などの禅の修行生活の重要な要素を通じて、禅の本質を理解する	◎	○			△		○		
禅と人間Ⅱ B231-112-12	中国および日本における禅宗の歴史や思想を概説し、禅の影響のもと成立した茶道・絵画・建築・陶磁器・書などの日本独自文化を解説する。	禅と日本文化との関係を具体的に理解し、禅によって培われた日本独自の美意識や感性を体得する	○	◎						△	
生命に関する諸問題Ⅰ B231-118-01	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	◎	○		○		◎	○	○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
生命に関する諸問題Ⅱ B231-118-02	「生と死」という解決し難い古来からのテーマについて、自然・人文・社会科学などの多様な視点・観点からアプローチする。	総合的に問題を捉えて解決したり、創造性を持って新たな課題を見い出したりする力をつける。自分なりの「生命観」・「人生観」・「死生観」を築く。	◎	○		○		◎	○	○	
人間行動の理解Ⅰ B231-285-01	心理学で扱う理論や事象は実験や調査で得られたデータに基づいている。本講義では、実際に実験を行い、仮説検証の考え方からデータの収集方法、結果の解釈に至るまで、心理学の基本的な方法論について理解を深める。	心の仕組みや働きを明らかにするための様々な方法論を理解したうえで、科学的な手続きと正確なデータ収集の重要性を認識し、さらにそれらをまとめて論理的な報告書の作成ができるようになること。	○	○	○	◎		◎	○	○	
人間行動の理解Ⅱ B231-285-02	フロイトの精神分析の口語版といわれる「交流分析」の理論と実践について学ぶ。交流分析は、パーソナリティ理論やコミュニケーション理論を含む心理療法のひとつであり、自己洞察を繰り返すことで、より良い人間関係と自己の生き方を築くことを目指す。	自己理解と他者理解を深め、よりよいコミュニケーションと自己の問題点の把握と改善へつなげること。	○	○	◎			○	○	◎	○
人間の尊厳と平等Ⅰ B231-261-01	本授業では、これまでに人間社会が形成してきた人権について、様々な歴史的事例や条文などの学びを通して、人権の基礎を習得する。	人権の成立過程や現代における課題を学び、一人一人の人間性を尊重し、他者と協調できるようになる。また、差別について批判的精神を養う。	◎	○	◎	○		○	○	○	
人間の尊厳と平等Ⅱ B231-261-02	本授業では、社会福祉の成立過程を学びながら、「福祉国家」や「社会福祉事業」への理解を深め、社会福祉の基礎を習得する。	社会福祉の学びを通して、一人一人の人間性を尊重し、多様な価値観を理解できるようになる。そして、自ら社会貢献が積極的に可能になることを目指す。	○	◎	◎	○		○	○	○	○
日本の文化と社会Ⅰ B231-162-01	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。		◎		△	○	○	◎		
日本の文化と社会Ⅱ B231-162-02	日本の歴史・文学・ことばを中心に、人々がそれらの事象とどのように関わってきたのか、どのような変化をとげてきたのか、を学ぶ。	科学的な探究の精神に基づいて、日本における、社会と文化と人間に対する理解を深め、複眼の視座を涵養する。		◎		△	○	○	◎		
アジアの文化と社会Ⅰ B231-163-01	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
アジアの文化と社会Ⅱ B231-163-02	文献資料や映像資料を駆使して、中国の芸能・小説などの伝統文化、及び近現代の政治・社会史に関する講義を行う。また定期試験などを通して受講生に論述の機会を設けている。	日本人にとって「他者」である中国を多面的に理解することを目指す。その上で、筋道を立てた論述能力や課題発見力、問題解決力を涵養することを目指す。	○	◎	△	○	○	◎	○	○	○
ヨーロッパの文化と社会Ⅰ B231-165-01	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	○	◎		○		◎	○	○	
ヨーロッパの文化と社会Ⅱ B231-165-02	ヨーロッパの思想・文化の理解	ヨーロッパ諸国の事例を学習することで、未来の日本社会構築の参考にする。	○	◎		○		◎	○	○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
英語圏の文化と社会Ⅰ B231-804-01	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解できる		◎			◎				
英語圏の文化と社会Ⅱ B231-804-02	英語圏の文化的な側面と社会的な側面について講義	英語圏の文化や英語の使用における社会的な背景について理解して説明できる		◎			◎				
人間と環境Ⅰ B231-646-01	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○		◎	○	◎	
人間と環境Ⅱ B231-646-02	社会・地球・自然・食など様々な角度から人間と環境の関わりについて学んでゆきます。	人間をとりまく種々の環境についての正しい知識を学び、玉石混淆の情報から正しい情報を読み解く力を身につけることができる。		○		○		◎	○	◎	
情報と社会Ⅰ B231-622-01	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会における情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎		○	○	◎	
情報と社会Ⅱ B231-622-02	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点を習得する。	ネットワーク社会におけるより進んだ情報の扱い方と倫理的問題点の習得を到達目標とする。		○		◎		○	○	◎	
産業と科学Ⅰ B231-118-01	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○		○	◎	◎	
産業と科学Ⅱ B231-118-02	生活に関連した産業と科学技術に関する話題を、複数の視点から多角的に分析し、解説する。	産業と科学技術に関する知識を学び、それを生かして生活における諸問題に対処できるような柔軟な思考力を身につける。				○		○	◎	◎	
ソフトウェア概論Ⅰ B231-605-01	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、コンピュータの多様な使い方を習得する。	コンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。						○	◎	◎	△
ソフトウェア概論Ⅱ B231-605-02	コンピュータ・プログラミングの課題を解くことを通して、より進んだコンピュータの多様な使い方を習得する。	より進んだコンピュータ・プログラミングとコンピュータの多様な使い方の習得を到達目標とする。						○	◎	◎	△
健康の科学 B231-594-01	健康や病気を理解するための基礎知識、とくに生活習慣との関わりや疾病予防の重要性について解説する。	健康的な生活を送るための基礎知識を身につけ、日常生活の中で実践できるようになることを目的とする。			△	△		○	○	◎	
英語Ⅰa B114-141-01	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	基礎的な英語表現の聞き取りと基礎的な会話表現ができる		○	○		◎				○
英語Ⅱa B114-141-02	英語のリスニングと英会話を中心とした授業	少し発展的な英語表現の聞き取りと会話表現ができる		○	○		◎				○
英語Ⅰb B114-141-03	英語の読解を中心とした総合演習	基礎的な英文を読んで内容が理解できる		○		○	◎		○		
英語Ⅱb B114-141-04	英語の読解を中心とした総合演習	少し発展的な英文を読んで内容が理解できる		○		○	◎		○		

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
英語Ⅰc B214-141-05	英作文・英文法を中心とした総合英語	基礎的な英文を書いて自己表現ができる		○			◎		○		○
英語Ⅱc B214-141-06	英作文・英文法を中心とした総合英語	少し発展的な英文を書いて自己表現ができる		○			◎		○		○
ドイツ語Ⅰ B114-145-01	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
ドイツ語Ⅱ B114-145-02	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○		○
中国語Ⅰ B114-147-01	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。		◎			◎		○		○
中国語Ⅱ B114-147-02	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。		◎			◎		○		○
フランス語Ⅰ B114-146-01	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅱ B114-146-02	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅰ B114-148-01	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅱ B114-148-02	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深め、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎		○	◎		○		○
ドイツ文化事情 B124-145-61	ドイツ語圏の国々の思想・文化・社会の探究	「ドイツ」から今後の日本社会に優位な考え方を学び取る		◎		○		○			
中国文化事情 B124-147-61	映像等を用い、中国の歴史、地理、社会等各方面から、中国語の背後にある中国文化の様々な側面を学び、多様な文化に対する理解を深める。	中国の社会や伝統文化に対する知識を増やし、より広い視野を持って、多様な文化、価値観が理解できるようになることを目指す。		◎		○		○			

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
フランス文化事情 B124-146-61	フランス人の物の考え方や、習慣、歴史、社会制度などを習得する。異文化理解が単一民族の日本人には重要であることを認識する。	個人の自由を重んじるフランス人の国民性を理解し、それが日常生活や社会制度の中で、どのように機能しているかを考察を深める。		◎		○		◎	○	○	
韓国文化事情 B124-148-61	様々な文献・視聴覚資料を活用し、韓国・朝鮮の文化・社会・歴史などについて学ぶ。単なる知識の伝達ではなく、日本との比較などや、様々な観点からの観察・分析、「韓国文化」の全般について正しく理解していく。	日常の様々な事柄について客観的な立場から観察・分析力を身につけることができる。また、日韓の文化比較を行い様々な意見や情報交換によって、自分の意見を表明する積極性と論理性を高めることができる。		◎	○	○	○		◎	○	
日本語Ⅰa B114-139-01	高度な文法力や読解力を身につけることを目的に論理的な文章を読む。	論理的な文章が読めるようになる。また、教材を通して日本社会への理解を深めることができる。					◎		◎	○	
日本語Ⅱa B114-139-02	読解力を向上させるために、論理的な文章だけでなく、エッセイなども取り上げて読む。	様々なタイプの文章を、一人で読めるようになる。また、内容に関して意見や感想をまとめることができる。					◎		◎	○	
日本語Ⅰb B114-139-03	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	留学生活に必要な聴解力・会話力を身につけ、わかりやすい発表ができるようになる。				○	◎		○	◎	
日本語Ⅱb B114-139-04	日本語の聴解、会話、口頭発表を扱う。	日本社会で起きている話題について聴き取れ、資料を基に論理的に意見が述べられるようになる。				○	◎		○	◎	
日本語Ⅰc B114-139-05	論理的な文章をわかりやすく書くための基礎的な技法を学ぶ。	事実と自分の考えとを書き分ける力、資料に基づいて自分の考えを書き進める力などを身につけることができる。					◎		○	○ ◎	
日本語Ⅱc B114-139-06	関心のあるテーマについて問題を見出し、資料を用いてその答えをレポートとしてまとめる。	レポートを書くことを通して、読み・書きの高度な日本語力を身につけることができる。				○	◎	○	◎	○ ○	
日本語Ⅰd B214-139-07	意見文を読み、自分の意見を述べたり、内容を要約したりする。	社会で問題になっている様々な問題について、自分の考えをわかりやすく述べることができる。		○			◎		○	◎	
日本語Ⅱd B214-139-08	ディベートやスピーチ学習などを通して、まとまりのある内容を的確に伝える方法を学ぶ。	自分の考えをわかりやすく伝えることができる。		○	○	○	◎	○	○	○ ◎	
日本語Ⅰe B214-139-09	「食」をメインテーマに課題を設定し、資料を集め、まとめて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。		○		○	◎	◎	○	○ ○	
日本語Ⅱe B214-139-10	日本の文化や社会に関するテーマについて、課題を設定し、調べて発表する。	高度な日本語力およびプレゼンテーション能力を身につけることができる。		○		○	◎	◎	○	○ ○	
英会話Ⅰ B134-141-11	外国人教員による英会話演習	簡単な英会話で自己表現ができる		○	○		◎			○	
英会話Ⅱ B134-141-12	外国人教員による英会話演習	少し発展的な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎			○	
英会話Ⅲ B234-141-21	外国人教員による発展的英会話演習	日常的な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎		○	○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
英会話Ⅳ B234-141-22	外国人教員による発展的英会話演習	発展的な様々な内容の英会話で自己表現ができる		○	○		◎		○		○
メディア英語Ⅰ B134-141-17	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで基本的な表現が理解できる		○			◎		○		
メディア英語Ⅱ B134-141-18	ビデオや映画等のメディアを使った英語演習	映画やニュースなどで少し発展的な表現が理解できる		○			◎		○		
メディア英語Ⅲ B234-141-27	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで多くの表現をそのまま理解できる		○			◎		○		
メディア英語Ⅳ B234-141-28	ビデオや映画等のメディアを使った発展的英語演習	映画やニュースなどで発展的な内容がそのまま理解できる		○			◎		○		
英語表現法Ⅰ B134-141-15	英作文や会話などの英語による自己表現演習	基礎的な英語を使って自己表現ができる		○			◎		○		○
英語表現法Ⅱ B134-141-16	英作文や会話などの英語による自己表現演習	少し発展的な英語を使って自己表現ができる		○			◎		○		○
英語表現法Ⅲ B234-141-25	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる		○			◎		○		○
英語表現法Ⅳ B234-141-26	英作文や会話などの英語による発展的自己表現演習	少し発展的な英語表現を使って自分の意見や考えを表現できる		○			◎		○		○
英語読解法Ⅰ B134-141-13	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で様々な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅱ B134-141-14	様々な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、自分で少し発展的な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅲ B234-141-23	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
英語読解法Ⅳ B234-141-24	発展的な英文を読んで理解する読解演習	辞書を使って、様々な発展的な英文の内容が理解できる		○		○	◎		○		
実践英語Ⅰ B134-141-31	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で基礎的な問題の解答ができる					◎		○		
実践英語Ⅱ B134-141-32	TOEIC等の検定試験対策の演習	TOEIC等の検定試験で少し発展的な問題の解答ができる					◎		○		
実践英語Ⅲ B234-141-41	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で発展的な問題の解答ができる					◎		○		
実践英語Ⅳ B234-141-42	TOEIC等の検定試験対策の発展的演習	TOEIC等の検定試験で少し高度な問題の解答ができる					◎		○		

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
ドイツ語Ⅰ（基礎） B134-145-11	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○	○	
ドイツ語Ⅱ（基礎） B134-145-12	ドイツ語の基礎力養成	基本的なドイツ語構造の理解		◎			◎		○	○	
ドイツ語Ⅲ（読解） B234-145-21	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化		◎			◎		○	○	
ドイツ語Ⅳ（読解） B234-145-22	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の読解力強化		◎			◎		○	○	
ドイツ語Ⅲ（表現） B234-145-31	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力（作文力）強化		◎			◎		○	○	
ドイツ語Ⅳ（表現） B234-145-32	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の表現力（作文力）強化		◎			◎		○	○	
ドイツ語Ⅲ（総合） B234-145-41	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化		◎			◎		○	○	
ドイツ語Ⅳ（総合） B234-145-42	中級ドイツ語能力養成	中級のテキストを用いたドイツ語の運用能力強化		◎			◎		○	○	
ドイツ語会話Ⅰ B234-145-51	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成		◎	○		◎		○	○	
ドイツ語会話Ⅱ B234-145-52	中級ドイツ語能力養成	ドイツ語の会話能力の養成		◎	○		◎		○	○	
中国語Ⅰ（基礎） B134-147-11	発音の習得から始めて、入門時に必要とされる常用単語及び初歩的な文型を学び、未習外国語である中国語の学習の基礎を固める。常に双方向の授業を心がけ、中国語運用能力の基礎を作る。	中国語の発音を習得し、中国語のローマ字表記を読めるようにする。併せて、初歩的な常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な中国語を使えるようにする。		◎			◎		○	○	
中国語Ⅱ（基礎） B134-147-12	中国語Ⅰで学んだ中国語の基礎の上にさらにステップアップを目指す。発音の習熟度をより高め、語彙及び理解でき、かつ使用できる文型を増やすことによって、中国語の運用能力を高める。	中国語の発音をより確実なものにし、より多くの常用語彙、重要文型を学び、中国語の構造に対する理解を深め、初歩的な中国語運用能力を身につけるようにする。		◎			◎		○	○	
中国語Ⅲ（読解） B234-147-21	1年次に習得した中国語を基礎に、簡単な文章を読むことによって中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の読解力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。		◎			◎		○	○	
中国語Ⅳ（読解） B234-147-22	中国語Ⅲ（読解）を受けて、様々な文章を読むことによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の読解力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の文章の読解力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。		◎			◎		○	○	

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
中国語Ⅲ（表現） B234-147-31	1年次に習得した中国語を基礎に、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の表現力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語Ⅳ（表現） B234-147-32	中国語Ⅲ（読解）を受けて、中国語の様々な表現を学んで中国語作文の練習をすることによって、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の表現力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、中国語の表現力を高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語Ⅲ（総合） B234-147-41	1年次に習得した中国語を基礎に、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、常用語を身につけ、中国語の文法構造等に対する理解を深め、中国語の運用能力をレベルアップして資格取得などに役立てる。	300語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語Ⅳ（総合） B234-147-42	中国語Ⅲ（総合）を受けて、「読み、書き、聴き、話す」練習を通して、使える常用語を増やし、中国語の文法構造等に対する理解をさらに深め、中国語の運用能力をさらにレベルアップして資格取得などに役立てる。	600語程度の常用単語を身につけ、中国語の文法構造に対する理解を深め、「読み、書き、聴き、話す」といった中国語の運用能力を全体的に高める。併せて、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語会話Ⅰ B234-147-51	発音の練習を重視し、ペアワークによる会話練習を行い、中国語の会話力を向上させる。併せて、作文と翻訳の練習も行い、中国語の総合的な運用能力を高める。	1年次で学んだ中国語の発音をより正確なものにし、あいさつなどの簡単な言葉から日常用いる初歩的な会話ができるようにする。中国政府公認の中国語検定試験HSK2級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
中国語会話Ⅱ B234-147-52	中国語会話Ⅰを受け、引き続き発音練習を重視し、ペアワークによる会話をほぼ毎回行って、会話力をより向上させる。併せて作文と翻訳の練習にも力を入れ、中国語の総合的な運用能力を高める。	中国語をより正確に発音できるようにし、より多くのことを表現できるよう会話力を高める。会話力と同時に、作文能力や読解力も向上させ、中国政府公認の中国語検定試験HSK3級の合格を目指す。		◎			◎		○		○
フランス語Ⅰ（基礎） B134-146-11	綴りと音の関係を理解し、フランス語文の音読を可能にする。基本文型を暗記し、フランス語のリズムを覚える。	フランス語文を単独で音読できるようにし、挨拶や買い物などの簡単な日常会話に慣れる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅱ（基礎） B134-146-12	人称の概念を理解し、基本動詞の活用を学習する。辞書を利用して平易なフランス語文を訳読し、暗記する。	会話文や説明文を、辞書を用いて単独で読解する。人物の会話から、フランス人の基本となる物の考え方を理解する。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅲ（読解） B234-146-21	フランス語の会話文や比較的読みやすい文学作品の文章を訳読し、その中の基本的な表現を暗記する。	テキストの各章のテーマにそって、登場人物による会話の機微を捉える。フランス語独特の言い回しに注意を払う。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅳ（読解） B234-146-22	会話文の中で描かれる日常生活のユーモアを読み解く。人生の指針となるような文章は、暗記して覚える。	会話文の登場人物になったつもりで、情感をこめて文章を音読する。共感を覚えた表現は、反復して忘れないようにする。		◎		○	◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
フランス語Ⅲ（表現） B234-146-31	フランス語の会話文を読みながら、その口語表現が持っている微妙なニュアンスを読み取る。使用頻度の高い文は暗記する。	フランス語の会話文の中にちりばめられている、エスプリの効いた表現を覚え、自分の人生に当てはめてみる。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅳ（表現） B234-146-32	フランス語の文学作品が描きだす人間感情の機微を読み取るようにする。感動した文は、暗記して心に留める。	文学作品の中に出てくる、感動的で重要な意味合いの文を、何度も反復しながら味読する。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅲ（総合） B234-146-41	短文の反復や言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の表現を確実に身につける。	フランスで生活するつもりになって、フランス語でフランス人に意志を伝えるつもりで、フランス語会話に集中する。		◎		○	◎		○		○
フランス語Ⅳ（総合） B234-146-42	練習問題による言い換えにより、実生活に結びついたフランス語の構造を確実に身につける。	フランス語の基本的な例文を覚えると同時に、日本語からフランス語への言い換えも行えるようにする。		◎		○	◎		○		○
フランス語会話Ⅰ B234-146-51	フランス語の発音の仕方、身振り、手振りなどの動作、顔の表情などを、フランス人自身から直に学ぶ。	フランス人の発音、表情、動作などを、素直に反復することから始めて、外国人と対話する楽しみを知る。		◎		○	◎		○		○
フランス語会話Ⅱ B234-146-52	テキストの意味を理解するだけでなく、片言の語彙であっても、自分からフランス語を口に出して言ってみる。	進んで教師にフランス語で話しかけるようにする。文法を気にするよりも、身振りや表情を交えてコミュニケーションを取る。		◎		○	◎		○		○
韓国語Ⅰ（基礎） B134-148-11	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅱ（基礎） B134-148-12	初めて学ぶ人を対象に韓国語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。韓国語の文字と発音を始めとし、日常生活で使える簡単な会話を学習することとする。	「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、韓国語の基本的な構造について理解することを目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ（読解） B234-148-21	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した人を対象にし、レベルアップした基礎文法を学ぶ。コミュニケーションの訓練とともに、文法と構文の理解、表現力を身につける。また、旅行やビジネス場面でよく使われる表現を学ぶ。	韓国語の基礎文法を踏まえ、より豊かな基礎会話を養うことを目標にする。徐々に語彙・文法項目を増やしていき、韓国語で書かれた文章に対する理解力を高める。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ（読解） B234-148-22	韓国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修した人を対象にし、中級を目指して実践的な表現を学ぶ。定型表現の学習は、ものの描写、要求・依頼・主張など様々な場面にふさわしい構文と語彙を習得し、言語運用力を養う。	中級レベルの文法や語彙を学び、韓国語としてより自然で円滑なコミュニケーションができるようにする。より豊かな言語表現力を養い、韓国語文章に対する「読む・書く」能力の上達を目標にする。		◎	○		◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ											
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3					
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成					
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5	B-DP3-6
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う	自己表現力 を養う
韓国語Ⅲ（表現） B234-148-31	文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基本文の作り方を練習する。そのために、基本文法と単語の学習を充実に行う。これに基づいて、実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ（表現） B234-148-32	韓国語の文字を覚えた学生を対象にし、授業計画に基づく韓国語の基礎知識と運用力を養成する。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることを目指す。韓国語圏の世界の諸相を理解し、国際的な視野を広める。	韓国語の文字と発音を習った学生を対象とし、基礎的な文の作り方を練習する。そのために、基本文法と基礎単語の学習を充実に行う。実際の現場で使われる多様な文の構造及び会話表現の習得を目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅲ（総合） B234-148-41	韓国語Ⅰ・Ⅱを履修した学生を対象にし、ハングル検定試験5級に合格するために必要な発音の仕組み、基本文法などを学習していく。文法事項や語句、日常会話文等を繰り返し練習し、ハングル検定試験5級合格に必要な基本的な能力を身につける。	基本文法については韓国語Ⅰ・Ⅱで学習した復習から始め、ハングル検定試験5級合格のために必要な発音と文法を学び、自ら学習できるようにする。基本文法と語句、日常会話文などの反復学習を通して習得していく。また練習問題と課題を通して、その定着と更なる応用発展を図る。		◎	○		◎		○		○
韓国語Ⅳ（総合） B234-148-42	ハングル検定試験5級に合格するため、基本文法、語句、日常会話文などを学習する。また11月に実施されるハングル検定試験に向けて実際の過去問を用いて練習する。適宜、試験に必要な発音や文法、語彙に関する解説を行う。	ハングル検定試験5級に合格する、あるいは5級に挑戦できる能力を身につけることを目標とする。すでに5級を取得した学生にとっても、次のステップアップにつながる足場を固める場となることを目標とする。		◎	○		◎		○		○
韓国語会話Ⅰ B234-148-51	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることにより、積極的に話す機会を与える。	ハングルの読み書きが確実にできるようにする。基礎的な文法を身につけ、あいさつ、自己紹介、身の回りのことについて自分の言いたいことを伝え、相手とコミュニケーションが取れるようにする。		◎	○		◎		○		○
韓国語会話Ⅱ B234-148-52	韓国語の読み書きができ、文章の作成が出来るレベルに達していても、会話ができるとは限らない。ペアワークやグループワークを多く取り入れ、学んだ表現を使った会話文を用いて実際に話してみることにより、積極的に話す機会を与える。	約700個の単語をもとに、初級レベルで必要な会話のスキルを身につけるようにする。その上で日本語とは異なる韓国語特有の会話の仕方を学習し、その背景にある文化についても考察できるようにする。		◎	○		◎		○		○
スペイン語Ⅰ（基礎） B134-149-11	初めて学ぶ人を対象にグローバル言語の1つであるスペイン語に関する基礎知識と運用力を養成する科目である。スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を学び日常生活で使える簡単な会話を学習する。	スペイン語の常用単語及び初歩的な文型を習得し、簡単な日常会話を使えるようにする。		◎	○		◎		○		○

教養教育科目 カリキュラムマップ										
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	B-DP1	B-DP2		B-DP3				
			自己探求 心の育成	理解・協調性		基礎学力の育成				
			B-DP1-1	B-DP2-1	B-DP2-2	B-DP3-1	B-DP3-2	B-DP3-3	B-DP3-4	B-DP3-5
			高い倫理性 と豊かな人 間性の涵養	多様な文化 と価値観の 理解	他者との協 調性	情報収集力 を培う	言語表現力 を培う	課題発見力 を養う	論理的思考 力を養う	問題解決力 を養う
スペイン語Ⅱ（基礎） B134-149-12	スペイン語Ⅰ（基礎）で学んだスペイン語のさらなるステップアップを目指す。単語の理解や発音の習熟度をより高め、かつ使用できる文型を増やすことによって、スペイン語の運用能力を高める。	スペイン語の発音をより確実なものにし、多くの常用単語、重要文型を学び、初歩的なスペイン語運用能力を身につける。		◎	○		◎		○	
スポーツ科学Ⅰ B115-592-01	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	○	○	○	△	△	△	◎
スポーツ科学Ⅱ B115-592-02	運動の実践により、生涯健康の基礎作りを目指す。運動の楽しさや健康の価値・意味を理解し自己管理能力を養う。	運動習慣の確立により肉体的、精神的、社会的な健康を獲得する。学生同士の協調性や連帯感を理解させ、豊かな人間性を高めていく。	○	○	○	○	△	△	△	◎
スポーツ科学Ⅲ B235-592-03	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	○	○	○	△	△	△	◎
スポーツ科学Ⅳ B235-592-04	生涯健康の応用と発展を目的とする。運動習慣の継続と生涯健康スキルを発展させる。	趣向や目的に適した種目を選択し、個人能力に応じたレベルでスポーツ実践する。「生涯健康の理論と実践の統合」を目標とする。	○	○	○	○	△	△	△	◎
海外事情Ⅰ B139-852-01	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	◎	◎	○	◎	△	△	△
海外事情Ⅱ B139-852-02	カナダ、オーストラリア、イギリス、アイルランド、台湾の各国の提携校でホームステイ先や学生宿舎に滞在しながら、語学力を磨いたり現地の文化を経験したりする。	渡航先の大学で開講される授業やプログラムを通して、語学力を向上させる。幅広く異文化に触れることで、多様な価値観や考え方を理解できるようになる。	◎	◎	◎	○	◎	△	△	△
海外事情Ⅲ B139-852-03	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
海外事情Ⅳ B139-852-04	マレーシア、台湾、韓国の提携校で実施されるワークショップや文化交流に参加し、提携校の学生や各国の留学生と協力して共通の課題に向き合うことで、グローバル社会に役立つコミュニケーションと多文化共生に対する理解を深める。	研修先の学生や教員との交流を深めることで、現地の事情や文化への理解を深めることができる。研修先での国際経験を通じて、グローバル社会で活躍できる人材となる基礎を身につける。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎・・・教育目標達成のために、特に重要な事項

○・・・教育目標達成のために、重要な事項

△・・・教育目標達成のために、望ましい事項

経営学部 カリキュラムマップ

経営学部経営学科の人材の養成・教育研究上の目的 地球規模での競争の激化、地球環境問題の深刻化、情報化の進展など、企業を取り巻く環境はかつてないほどのスピードと規模で変化しています。 経営学部では、このような環境変化に対応するため、大学の建学の精神である「行学一体、報恩感謝」に加え、学部教育理念である「理論と実践」のもと、新しい経営理論に基づく実践を重視した教育を行い、「企業経営を通じて社会に役立ち、自己表現できる人材の育成」を目標としています。										
経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー（DP）							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い感性、異文化への深い理解、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力等に関する能力	② 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる能力	① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる能力	① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 自ら新たな事業を企画し運営できる能力	① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 公認会計士や税理士の資格取得等を通じ、社会に貢献できる能力
経営入門Ⅰ M111-238-01	初歩的な経営学の知識の修得を目指し、多様な専門科目を2年次以降に学びやすくするための基本的な用語と考え方を身につけます。経営入門Ⅰでは、主に企業についてと仕事の内容別の経営管理について学びます。	企業と経営管理に関してビジネスでよく使われる基本的な用語を理解し、使えるようになります。2年次以降の基礎科目および生産マーケティングコースの応用科目を学ぶための基本的考え方が身につきます。	○	◎	○	○	○	△		
経営入門Ⅱ M111-238-02	初歩的な経営学の知識の修得を目指し、多様な専門科目を2年次以降に学びやすくするための基本的な用語と考え方を身につけます。経営入門Ⅱでは、主に企業経営の基本方針の定め方と働く人々の協力関係の作り方について学びます。	企業と経営管理に関してビジネスでよく使われる基本的な用語を理解し、使えるようになります。2年次以降の基礎科目および組織マネジメントコースの応用科目を学ぶための基本的考え方が身につきます。	○	◎	○	○	○	△		
会計学入門Ⅰ M231-240-01	初級簿記で学んだ貸借対照表と損益計算書にキャッシュフロー計算書を加えた財務三表の読み方とその分析方法の基礎を学びます。	①財務三表における表示項目の意味が分かるようになります。 ②財務三表の数値を用いた財務諸表分析の基礎を学ぶことにより、企業の収益性、安全性、生産性を知るための基礎が分かるようになります。	◎	◎	△	○	△	○	◎	◎
会計学入門Ⅱ M231-240-02	①なぜ企業が財務諸表を作成するのか、②どのようなルールに従って財務諸表が作成されるのか、③財務諸表作成ルールの概要を学びます。	①株式会社が財務諸表を作成する意義を理解できるようになります。 ②どのような法律が企業に対し財務諸表の作成を義務付けているか、どのような種類の財務諸表作成を求めているのか知ることができます。 ③財務諸表の作成を義務付けている法律の意図を理解することができます。	◎	◎	△	○	△	○	◎	◎

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュニ ケーション力等に関 する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を見 出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
経営情報論 M131-238-03	スマートフォンやSNS、AIなどのデジタルICTが普及し、DX（デジタルトランスフォーメーション）の必要性が言われる中、経営を行う上で、これを効果的に活用することは重要な課題である。この講義では、デジタルICTが経営においていかに活用されているかを学ぶ。経営においては、マーケティングなど市場対応部分に適用されるものもあれば、製品開発や生産などモノづくりにおいて活用されるもの、組織メンバー間のコミュニケーションや知識共有に用いられるものもある。こうした様々なデジタルICTを検討し、企業経営における活用方法について理解を深める。	本講義の目標は、経営において用いられるデジタルICTの活用について理解し、どのような役割を果たしているかを説明できるようになることである。より具体的には、「経営における情報と重要性」、「現代の経営とICT」から始まり、「経営戦略とICT」、「マーケティングとICT」、「組織マネジメントとICT」、「モノづくりとICT」といった事柄について説明できることを目標とする。デジタルICTの活用にかかわる考え方やコンセプトを学ぶとともに、具体的な活用事例をとり上げて検討する。	○	◎	○	○	○	○		
I C Tビジネス M131-238-04	インターネットやスマートフォン、AIをはじめとするデジタルICTが普及した現在、これを前提としたビジネスが普及してきている。そこでこの授業では、インターネットビジネスなどICTを用いたビジネスをテーマとし、ビジネスモデルや戦略について検討する。授業においては、教員による講義や資料の検討を踏まえて関連ビジネスについての学びを深める。履修者には、事例や技術を知るだけでなく、自らビジネスモデルや競争環境を分析し、現状ないし将来を評価し、報告することが求められる。	この授業の到達目標は、インターネットビジネスなどICTを用いたビジネスのビジネスモデルや関連する基本コンセプトについて理解し、その特徴を述べられるようになることである。また、そうした理解に基づいて、関連事例について自ら分析し評価したり、課題や改善点について提言できるようになることを目指す。	○	◎	○	○	○	○		
初級簿記 I M131-240-03	簿記では、企業や商店を経営するにあたり、日々の取引などの出来事を記録、整理し、最終的にいくらもうかったか計算する。この簿記記録は経営活動や経営組織をどのようにしていくかを意思決定する際に役立つ。 初級簿記 I では、簡単な設例をもとに1期間の経営活動がどのように記録されていくかについて、その基本的な手続きを学ぶ。	(1)簿記一巡の手続きを理解すること。 (2)取引の記録方法として仕訳、転記ができること。 (3)簿記の記録データをもとに試算表が作成できること。 (4)決算手続きを行い、精算表および財務諸表を作成できること。 (5)当期の損益を適切に計算できること。		◎	○	○	○	○	○	◎

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュニ ケーション力等に関 する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を見 出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
初級簿記Ⅱ M131-240-04	初級簿記Ⅱでは、初級簿記Ⅰで学んだ簿記の基本的な手続きをもとに、実際の経営活動でよく生じる様々な取引について、記帳する方法を学ぶ。 さらに、それらをもとにした決算の方法を学び、実際に社会で用いられる決算書（財務諸表）の作成方法を学ぶ。	(1)実際の経営の現場で生じる基本的な取引について仕訳、転記ができ、そのデータをもとに試算表が作成できること。 (2)複雑な決算手続きを行い、精算表および、正式な財務諸表を作成できること。 (3)当期の損益を適切に計算できること。		◎	○	○	○	○	○	◎
マーケティング 管理論Ⅰ M231-239-01	マーケティングとは、市場あるいは消費者のニーズに応えることで組織の利潤を生みだし、当該組織の持続的な成長を支える活動のことである。マーケティング管理論Ⅰでは、市場と消費者の行動に関する基本的な知識について学習する。	(1)市場調査の方法に関する基本的な知識を習得する。 (2)消費者の購買行動を説明するモデルに関する知識を習得する。 (3)マーケティング・コンセプトの変遷について理解する。		△		○	◎	○		
マーケティング 管理論Ⅱ M231-239-02	マーケティング管理論Ⅱでは、マーケティング管理論Ⅰに引きつづきマーケティングをより良く理解するための基本的な知識を学習するとともに、それらに基づくさまざまなフレームワークについて学習する。	(1)マーケティング・ミックスと関連諸戦略について理解する。 (2)マーケティング・マネジメントにおける戦略計画とそのプロセスを理解する。 (3)習得した諸戦略の知識に基づいて、実際の企業戦略について分析できるようになる。		△		○	◎	○		
人事管理論Ⅰ M231-238-05	人材マネジメントに関する基本理論、関連するトピックについて学び、企業、その他の組織における「ヒト」の管理にかかる知識を習得する。	企業における人材マネジメント施策、人事システムについて理解し、人材マネジメントの視角から社会・経済・企業での事象にアプローチできるようになる。		◎	○		△		△	
人事管理論Ⅱ M231-238-06	人材のマネジメントに関する基本および応用的理論を学び、関連する事例・トピックを考察することをつうじて、企業、その他の組織における「ヒト」の活用にかかる知識を習得する。	企業における人材マネジメント施策、人事システムへの理解をもとに、企業で働く自分の姿を思い描き、キャリア・デザインへの意識を高められるようになる。		◎	○		△		△	
生産管理論Ⅰ M231-239-03	生産管理論Ⅰにおいては、工場の仕組みについての基礎を学ぶ。機械化、自動化、情報化など工場におけるものづくり技術すなわち生産技術の発達について学ぶ。	①産業革命がナゼ英国で起こったか、その後アメリカで自動車産業が発達したか、現在コンピュータやロボットが工場の中でいかに使われているかがわかる。②損益計算書・貸借対照表の作成、損益分岐点分析の基礎がわかる。		○			◎			
生産管理論Ⅱ M231-239-04	生産管理論Ⅱにおいては、工場の仕組みについての基礎を学ぶ。機械化、自動化、情報化など工場におけるものづくり技術すなわち生産技術の発達について学ぶ。	①戦後日本自動車産業の歴史、トヨタ自動車工場の仕組み、中小企業の工場運営、海外工場の運営がわかる②損益計算書・貸借対照表の作成、損益分岐点分析の応用能力を習得する。		○			◎			

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い感性、異文化への深い理解、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力等に関する能力	② 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる能力	① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる能力	① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 自ら新たな事業を企画し運営できる能力	① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 公認会計士や税理士の資格取得等を通じ、社会に貢献できる能力
経営科学 M231-738-01	経営の分野における全般的あるいは個別の問題解決のための解答を科学的に見出すための原理および手法を学ぶ。経営科学Ⅰではデータを図やグラフに表現する手法と損得計算の手法を学ぶ。	経営の分野における全般的あるいは個別の問題解決のための解答を、Excelを駆使して科学的に見出すことが可能となること。		◎	○		○			
マーケティング・リサーチ M231-738-02	経営の分野における全般的あるいは個別の問題解決のための解答を科学的に見出すための原理および手法を学ぶ。経営科学Ⅱでは日程計画、需要予測、在庫管理、線形計画、階層化意思決定などの意思決定の手法を学ぶ。	経営科学Ⅱと同様に、経営の分野における全般的あるいは個別の問題解決のための解答を、Excelを駆使して科学的に見出すことが可能となること。		◎	○		○			
環境ビジネス論 M231-238-07	環境ビジネスの促進要因と阻害要因を学ぶ。これらを踏まえてケース分析を行った後、実現可能な環境ビジネスプラン形成に向けたワークを実施していく。	環境ビジネスの阻害要因と促進要因を整理し、それらを踏まえた有効な環境ビジネス構想を描けるようになることが目標である。		○				◎		
経営環境論 M231-238-08	企業が対応すべき経営環境には、市場とく市場以外のものがある。この授業では、広く経営環境の変化を理解するために、市場以外の経営環境の変化として環境問題への人々の関心の高まりに注目し、その変化の拡がりや企業の対応策を学ぶ。	経営環境のタイプを理解し、その拡がり、および経営環境の諸主体との相互関係の重要性を示せるようになることが目標である。具体的には実際に行われている環境経営を評価し、改善案を示すことができるようになることが目標である。			○	◎				
会計監査 M331-240-05	財務諸表の信頼性を保証する会計監査という業務について、①その意義・目的、②会計監査を担当する者（監査人）の資格・要件、③監査実施の手順、④監査の結果の伝達手段を学ぶ講義です。	会計監査を受講することによって次のことができるようになります。 ①財務諸表が信頼できる内容を持つものかどうか、どの程度の信頼性をもっているのかの判断。 ②不正会計が行われた場合、その責任が誰にあるのかについての適切な判断。 ③株式会社の仕組みと、株式会社が成立する要件の理解。 ④公認会計士試験を目指す受講生にとっては、受験のための基礎知識の獲得。	△						○	◎

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュニ ケーション力等に関 する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を 見出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
ファイナンス分析 M331-236-01	ファイナンス分析では、財務諸表分析、財務管理論などで学んだことをもとに、企業の財務データを統計的に分析する。 ファイナンスに関わる論点について講義し、金融市場のデータや企業の財務データ・定性的情報をもとに統計的分析をしてもらう、と言う形で講義を進めていく。	(1) 企業などによる情報開示と市場におけるその経済的帰結や効果に関する仮説が立てられるようになること (2) 自分の分析で必要とする情報を、さまざまなデータの中から適切に抽出できるようになること (3) 仮説をもとに統計的検定が行え、その分析結果を適切に解釈できること		○		△			◎	
管理会計Ⅰ M331-240-06	管理会計の諸概念および諸体系について理解し、意思決定会計、業績評価会計について学ぶ。管理会計Ⅰでは、歴史的展開、諸体系について理解した後、短期利益計画とCVP分析、経営意思決定と差額原価収益分析について学ぶ。	(1) 管理会計の歴史的展開ならびに管理会計の基礎概念と諸体系について理解できること (2) 短期利益計画を理解し、CVP分析ができること (3) 経営意思決定について学び、差額原価収益分析ができること。				◎	○		◎	○
管理会計Ⅱ M331-240-07	経営を可視化するための一つの考え方として定量化の諸技法について学ぶ。主として戦略的意思決定と設備投資の経済性計算、戦略的コストマネジメントの諸技法、バランス・スコアカード(BSC)等について学ぶ。	(1) 設備投資の経済性計算として回収期間法、投資利益率法、正味現在価値法、内部利益率法等が計算できること (2) 活動基準原価計算の基本的な考え方を理解し、計算ができること (3) BSCの基本的な考え方が理解できること				◎	○		◎	○
起業論 M231-238-09	ビジネスの世界では「従来のやり方にとらわれない発想」が求められている。本講義では、自ら新たな事業を企画し、運営するアントレプレナーシップ(起業家精神)の鍵となる「情報の編集術」と「プランニングの基礎」を学ぶことに主眼を置く。	本講義は、各人の編集力を高め、今まで気がつかなかった観点から情報を組み替え、そして読み替え新しいアイデアを創発するプログラムである。最終的には、新規事業の企画を提案することを到達目標とする。	○	○			○	◎		
製品開発論 M231-238-10	「新事業や新商品」を世に問う起業予行練習(ワークショップ)を繰り返し、企画論で身に着けた編集およびプランニング能力を定着、進化させることを目的とする。	起業予行練習とは、プロトタイプ商品を潜在顧客にテストマーケティングし、その分析結果に基づきPDCAサイクルをまわすことを意味している。最終的には、マーケティング戦略、資金計画を含む事業計画書を作成することを到達目標とする。	○	○			◎	◎		
企業倫理 M231-238-11	企業倫理問題を理論と具体的な側面から接近する。理論学習は意思決定基盤の正しさを強化し、具体的なケース学習は、意思決定基盤を洗練し、強化する。一連の学習で得られた内在化された知見をケースライティングとしてまとめる。	他者に理解される形で自らの意思決定基盤について語れるようになるよう、(1) 関連理論を踏まえて、価値判断を示すことができるようになること、(2) 異なる価値観を持つ人々との共存を前提とする決定を行えるようになることを目標とする。	○		◎					

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュニ ケーション力等に関 する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を 見出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
コーポレート・ ガバナンス M231-238-12	企業をリードする経営者とその影響をうける株主、従業員のような関係者の間の利害調整を行い、リーダーの意思決定の統御を行う仕組みが学習対象である。関連制度を理解し、主要論点や理論を、ケースを通じて学ぶ。	コーポレート・ガバナンスに関連する制度を理解し、企業に要求されていることを読み取れるようになること、および関連理論や分析指標を理解し、使いこなす、具体的な企業の分析を行えるようになることが目標である。		○		◎				
金融論 M231-236-02	本科目では、わが国の経済成長を支えてきた本邦金融システムのこれまでの歴史と、情報技術の進展により競争条件が大きく変貌するわが国金融機関の現状を踏まえながら、金融機関や金融市場の今後の動向について学びます。	金融論での目標は次の通りになります。 1) 我が国金融システムの特徴や課題、金融機関を取り巻く環境の変化・今後の展望を理解するのに必要な視点が持てるようになること。 2) 資金の適切な調達・運用・管理に関する知識が身に付くこと。		◎		○			○	
グローバル戦略論 M331-238-13										
経営工学 M331-738-03	アジアのグローバル現地生産では、マーケットに合わせたデザイン・品質の製品が開発・生産・販売されています。経営工学では、生産・物流・サービスの改善と原価低減による効率化をどのように行うのかについて学びます。	生産、販売、サービスの現場で発生する問題を、工学的アプローチにより解決しようとするものです。在庫、品質、納期について理解し、ムダの考え方、生産性の高い仕事を把握することを目標とします。		○			◎	△		
サプライチェーン・ マネジメント M331-239-05	原材料の調達、部品・製品の出荷にかかわる物流サービスを扱います。近年、通販の売上が伸びており、物流量は増加しています。ロジスティクス論では物流サービスと競争優位について学びます。	近年、物流のグローバル化と配送の高速化が話題になっています。ロジスティクスは原材料を製品にしてお客様に届けるのに、どんな問題解決をしているのかを、ケーススタディーから把握することを目標とします。	○				◎	△		
経営戦略Ⅰ M231-238-14	経営戦略論Ⅰでは、経営戦略についての基本的な理論を学習します。具体的には、全社戦略、競争戦略といった基本的な戦略から、5つの競争要因分析、資源ベース理論などの重要な理論について学習します。	(1) なぜ特定の企業が好業績を上げているのかを、経営戦略の理論をもとに説明できるようになること。 (2) 5つの競争要因分析などの分析ツールを活用して実際の企業の行動を分析できるようになること。		○	◎	◎	△	○		
経営戦略Ⅱ M231-238-15	経営戦略Ⅱでは、経営戦略とイノベーションの関係性について学びます。とくに、革新的イノベーションと企業のパフォーマンスの関係性や、プラットフォーム戦略など近年重要性を増してきている理論を学習します。	(1) 革新的なイノベーションを生み出す組織にはどのような特徴があるのかを理解できるようになること (2) プラットフォーム戦略において、ユーザー数を増やすための企業の行動を分析できるようになること		○	◎	◎	△	○		

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い感性、異文化への深い理解、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力等に関する能力	② 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる能力	① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる能力	① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 自ら新たな事業を企画し運営できる能力	① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 公認会計士や税理士の資格取得等を通じ、社会に貢献できる能力
経営統計Ⅰ M231-603-01	本講では、経営学・社会学など実質科学分野における問題解決に際しに有用となる統計学の基本知識・統計的な見方を学習する。データからの有効な情報の抽出を目的とし、図的表示・基本統計量の計算・各種統計解析法の習得を通して、データの要約と解釈について学習する。	経営学分野での諸問題に対し、統計的視点に基づく解決の方法を習得することができる。Excelを駆使して、基本統計量の計算と代表的な統計手法である相関分析法と回帰分析法が修得できる。		◎	○		○		△	
経営統計Ⅱ M231-603-02	本講では、経営における諸問題での意思決定の際に有用となる回帰分析法を活用して、将来の観測値の予測方法である時系列データの予測方式 (TCSI) を多くの例示とともに学習する。社会調査などに見られる分割表データの解析についても学習する。	経営学・社会学分野での諸問題に対し、統計的視点に基づく解決の方法を修得することが可能となる。とくに、需要予測の問題などでみられる時系列データの解析法が修得できる。		◎	○		○		△	
リーダーシップ論 M331-238-16	本講義の目的は、リーダーシップとは何かを理解することである。経済環境が大きく変化し、グローバル化が進展する現代に求められるリーダーシップについて学んでいく。また、どのようにリーダーシップ能力を身につけていけばよいのかについてのプロセスを学んでいく。	本講義の到達目標は、様々な状況を想定したケースワークを通じて、リーダーシップをどのように発揮するのかを学び、それらを実践できる能力を身につけることを到達目標としている。		△	○	◎				
モチベーション論 M331-238-17	本講義では、これまで蓄積されてきたモチベーションに関する研究成果に基づいて、職場における動機づけ (ワーク・モチベーション) について学ぶ。	本講義では、モチベーション論の歴史的な流れと、モチベーションをどのようにしたらコントロールできるのかについて理解することが到達目標である。		△	○	◎				
原価計算Ⅰ M231-240-08	原価および原価計算に関する基礎概念や原価計算の諸形態を理解し、製品原価の構造や算定方式について学ぶ。原価計算とは、「製造業において製造された製品が1個いくらであるか原価を計算する手続」である。原価計算Ⅰでは、簡単な諸設例をもとに原材料からどのように製品原価が集計され、計算されるのか、そのコストフローを中心に学ぶ。	(1)工業簿記の基本的な勘定体系について理解し、コストフローを説明できること。 (2)費目別計算について理解し、材料費、労務費、経費の計算ができること。 (3)部門別計算を理解し、部門費の1次集計、2次集計ができること。 (4)製品別計算を理解し、部門別個別原価計算が計算できること				○	○	◎	○	
原価計算Ⅱ M231-240-09	原価計算Ⅱでは、原価計算Ⅰで学んだ基本的な手続きをもとに、総合原価計算の計算手続きについて学ぶ。次に、原価管理指向の原価計算として標準原価計算について学ぶ。さらに利益管理指向の原価計算として直接原価計算について学ぶ。	(1)製品別計算を理解し、総合原価計算の計算ができること。 (2)標準原価計算の計算手続きおよび原価差異の分析ができること。 (3)直接原価計算および損益分岐点分析ができること。				○	○	◎	○	

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュニ ケーション力等に関 する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を見 出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
現代経済学 A M231-231-01	経済学の基礎であるミクロ経済学について学ぶ。特に消費者の行動と需要、企業の行動と供給、需要と供給の一致する市場均衡とその経済学的意味について、様々な事例を用いて学ぶ。	市場経済のメカニズムについての基本的理解を深めることで、日常生活や仕事などで遭遇する経済問題の本質を理解し、それらに適切に対処できる能力を養う。		◎		○		○		○
現代経済学 B M231-231-02	経済学の基礎であるマクロ経済学について学ぶ。一国の経済全体の構造と経済のメカニズムについて理解し、経済全体の成長と安定のための望ましい金融・財政政策を学ぶ。そしてその知識を基に日本経済の現状を把握する。	一国の経済のメカニズムを把握することで、日本の経済の現状と将来についての自らのビジョンを描き、それによって日常生活や仕事の上での直面する経済問題に適切に対処できる能力を養う。		◎		○		○		○
国際会計 I M331-240-10	現在、会計基準を世界で1つにしていこうという動き（会計基準の国際的収斂）が進行している。本講義では、会計基準の国際的収斂の動向と、国際会計基準とはどのようなものかについて、ケーススタディーを取り入れながら学習する。	会計基準の国際的収斂は、何故進行してきたのか。そのメリットおよびデメリットは何か。国際会計基準と日本の会計基準とは、どのような相違があり、その相違が生じた原因は何かについて理解する。		○					◎	○
国際会計 II M331-240-11	現在、会計基準を世界で1つにしていこうという動き（会計基準の国際的収斂）が進行している。本講義では、会計基準の国際的収斂の動向と、国際会計基準とはどのようなものかについて、ケーススタディーを取り入れながら学習する。	国際会計基準の特徴は何か。国際会計基準の適用で、財務数値はどのように変化するのか。国際会計基準に従って作成された財務情報はどのように利用するのかについて理解する。		○					◎	○
国際マーケティング論 M331-239-06	21世紀になり高度情報化とグローバル化により世界市場は激変しつつある。このような情勢変化を踏まえ、マーケティング活動だけでなく物流活動にも注力しながら国際マーケティングに関する基礎と実践を学習する。	国際経営活動のなかでもマーケティング活動は先行性を有し、企業の海外事業展開を成功させるために非常に重要となる。それゆえ物流活動にも焦点を当て、実践的なマーケティング戦略が策定できるようになる。	△	○	△	○	◎	△		
財務会計 I M231-240-12	本講義では、日本の企業会計制度について、理論、基準、実務の側面から学習する。本講義では、日本の会計基準がどのような理論的基礎のもとに設定されているか、その特徴はどのようなものであるかについて、実際の財務諸表等を利用して学習する。	日本の会計制度の体系と、日本の企業が公表する財務諸表の特徴を理解する。		○					◎	○
財務会計 II M231-240-13	本講義では、日本の企業会計制度について、理論、基準、実務の側面から学習する。本講義では、日本の会計基準に従って作成される財務諸表をどのように意思決定に利用するのかについて学習する。	日本の企業が公表する財務諸表をどのように意思決定に役立てるのかについて理解する。		○					◎	○

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い感性、異文化への深い理解、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力等に関する能力	② 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる能力	① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる能力	① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 自ら新たな事業を企画し運営できる能力	① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 公認会計士や税理士の資格取得等を通じ、社会に貢献できる能力
財務管理論Ⅰ M231-236-03	企業経営には、「ヒト」「モノ」を「カネ」が必要になるが、財務管理論Ⅰは、「カネ」の調達、運用、管理をどうするかについて意思決定する方法を学ぶ。 財務管理論Ⅰでは、財務管理の重要な基礎概念やモデルを習得し、「カネ」の流れ（これをキャッシュフローという）を実践的な視点で考察する。具体的には、投資案や投資リスク、および企業価値の評価について学ぶ。	(1) 経営的な意思決定を数値(特に現在価値)を使い、適切かつ客観的に行えるようになること (2) 経営上のリスクを管理、低減する方法を習得すること (3) 投資案や企業の価値を評価することができるようになること。		△		○	○		◎	
財務管理論Ⅱ M231-236-04	財務管理論Ⅱでは資金調達面の課題を取り上げて講義します。具体的には、資金調達方法とその効果、配当政策の経済的帰結、新しい金融商品の経営活動への役立ちについて学ぶ。	(1) 効率的な資金調達方法について理解すること。 (2) 金融市場での取引形態を理解すること (3) 企業の資金調達と金融市場との関係について、利回りの面から理解すること (4) デリバティブなどの新しい金融商品の価値計算と、それらがどのように経営活動に役に立つか理解すること。		△		△	○		◎	
財務諸表分析 M331-240-14	財務諸表分析では、企業の会計データを分析していきます。まず、財務諸表やその他の経営指標を説明し、企業の財務データを用いて、実習を行います。さらに、資本市場は財務情報や企業の特性に対してどのような評価を与えているかについて分析を行います。	(1) イメージだけで企業捉えずに、企業の財務数値から、より明確な企業像を把握できるようになること (2) 経営指標の意味を理解し、実際に分析できるようになること (3) 自分の必要とする情報を、財務データの中から適切に抽出できるようになること (4) 大量の財務データ使った関数計算や統計処理できるようになること		△		○			◎	○
上級簿記Ⅰ M131-240-15	上級簿記Ⅰでは、株式会社における主要な取引や経済事象を適切に、測定、記帳する方法を学ぶ。また、比較的規模の大きな企業の財務諸表を適切に作成する方法を学ぶ。	(1) 簿記におけるデータ処理の構造を理解すること (2) 株式会社における取引の記帳を迅速かつ適切に行えるようになること (3) 適切な決算処理を施し、法令、会計基準に準拠した財務諸表を適切に作成できること				△			○	◎

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュニ ケーション力等に関 する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を 見出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
上級簿記Ⅱ M131-240-16	上級簿記Ⅱでは、外貨建取引、金融商品取引や企業グループ間取引などの株式会社におけるより複雑な取引や経済事象を測定、記帳する方法を学ぶ。また、企業グループの連結財務諸表を適切に作成する方法を学ぶ。	(1) 複雑な取引の記帳を迅速かつ適切に行えるようになること (2) 大規模企業の大量かつ複雑な簿記データをもとに、法令、会計基準に準拠した財務諸表を作成できるようになること (3) 企業グループ内の各企業の帳簿をもとに、法令、会計基準に準拠した連結財務諸表を適切に作成できること				△			○	◎
ウェブデザイン M231-601-01	本講義では、HPの作成を通して、企業経営において利用される「プログラムによって制御されたITによる情報処理の仕組み」を作るための基本的な知識を学ぶ。HPの作成にあたっては、基本的なプログラミング言語（HTML、CSS）を使用し、グループワークなどの演習を通じて、自ら情報処理の仕組みを構築できる力を身につけることが狙いである。	企業経営において必須となるウェブ技術（HP）を取り上げ、プログラミングを学び、実際にHPの作成に取り組む。この取り組みを通して、プログラミングとは何か、どのようにプログラミングするのか、それによって何ができるのか、企業経営にどう生かせるのかを学び、その経験に基づいてこれらの事柄について説明できるようになることをめざす。	○	○			○	◎		
プログラミング M231-601-02	プログラミング言語"Python"によってWebアプリを開発することで、企業経営において利用される「プログラムによって制御されたITによる情報処理の仕組み」を作るための基本的な知識を学ぶ。Webアプリの作成にあたっては、グループワークなどの演習を通じて、自ら情報処理の仕組みを構築できる力を身につけることが狙いである。"Python"はAIと非常に相性が良いことから、顔認証アプリなども実際に作成する。	企業経営においてアドバンテージとなるプログラミング言語（Python）を取り上げ、実際にWebアプリの作成に取り組む。プログラミングとは何か、どのようにプログラミングするのか、それによって何ができるのか、企業経営にどう生かせるのか、といったことを学び、その経験に基づいてこれらの事柄について説明できるようになることをめざす。 "Python"はAIと非常に相性が良いことを踏まえ、日進月歩で技術が進化するAIの最新の動向についても学ぶ。	○	○			○	◎		
組織論Ⅰ M231-238-18	本講義の目的は、組織を理解することである。現代社会に生きるわれわれは、どこかの組織に属している。組織が存在するのは、われわれが個人でできる以上のことを組織ができるからである。どのようなメカニズムによって組織が機能または逆機能するのかを学習する。	本講義では、組織はどのようなメカニズムで動いているのか、またどのように組織をデザインすればよいのか等を学ぶ。このことによって、組織についての理解を深め、組織の不祥事を防ぎ、業績を高める方法について理解することが到達目標である。		△	○	◎				

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュニ ケーション力等に関 する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を見 出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
組織論Ⅱ M231-238-19	本講義の目的は、組織論Ⅰに引き続き、さらに組織を理解することである。現代社会に生きるわれわれは、どこかの組織に属している。組織が存在するのは、われわれが個人でできる以上のことを組織ができるからである。どのようなメカニズムによって組織が機能または逆機能するのかを学習する。	本講義では、組織論Ⅰをベースに、組織はどのようなメカニズムで動いているのか、またどのように組織をデザインすればよいのか等を学ぶ。このことによって、組織についての理解を深め、組織の不祥事を防ぎ、業績を高める方法について理解することが到達目標である。		△	○	◎				
中級簿記Ⅰ M131-240-17	中級簿記Ⅰでは、初級簿記Ⅱで習得した簿記の基礎的知識および技術をもとに、株式会社を中心とした企業会計上の簿記処理を扱う。	株式会社における簿記手続きの一巡について、その基礎を十分に理解し、簿記処理する事ができることが目標となる。		△		△			○	◎
中級簿記Ⅱ M131-240-18	中級簿記Ⅱでは、中級簿記Ⅰで習得した株式会社の簿記の基礎的知識および技術をもとに、現代の企業経営上重要視される、企業結合や国際的取引に関する論点などを学ぶ。	株式会社における簿記手続きの一巡について、外貨建取引や連結財務諸表の作成など、高度な簿記処理する事ができることが目標となる。		△		△			○	◎
中小企業経営論Ⅰ M331-238-20	日本の企業のなかで中小企業は99%を占めています。もともと経営学という学問は主に大企業を対象として形づくられていますが、経営学部で学ぶからには99%という中小企業にも関心を寄せてほしいと思います。本講義では、中小企業およびその経営・戦略について、正しく理解することを狙っています。	経営学部の他の授業ではまとまって学ぶ機会のない中小企業を対象としているため、中小企業概念規定から始めて、中小企業の存立形態、経営・戦略上の特徴、経営者の役割について学習します。そうした学習を通じて、大企業と中小企業との違いについて具体的に明確な説明ができるようにします。		○	△	○	△	◎		
中小企業経営論Ⅱ M331-238-21	異質多元性を特徴とする中小企業を、ひとつのかたまりとして捉えようとなると、実態と乖離する恐れが出てきます。そこでこの授業では、実際の中小企業の戦略を分析することによって、中小企業が成功するには何が必要かを実態的に明らかにしていきます。	毎回1社ずつ成功中小企業の事例を取り上げて、SWOT分析の考え方をベースに戦略分析することを通じて、中小企業の成功要因を具体的に理解すること、あわせて経営学の知識を用いて現実の企業経営を分析する手法の修得を目指します。		○	△	○	△	◎		
ベンチャービジネス 実践研究 M331-238-22	本講義は、自ら新たな事業を企画し、運営するアントレプレナーシップ（起業家精神）の涵養に重きを置き、ベンチャー企業のビジネスモデル・シミュレーションと相互評価に主眼を置いたワークショップ型の講義スタイルをとる。	左記の教育メソッドに基づいたビジネスモデル・シミュレーションを繰り返すことによって、学生はベンチャー経営者に必要な「主体性」「働きかけ力」「課題発見力」「計画力」「発信力」「傾聴力」の向上が期待できる。				◎	○			

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュニ ケーション力等に関 する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を 見出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
ベンチャービジネス論 M231-238-23	本講義は、ベンチャー経営者または管理者としての経営資源のマネジメント能力を涵養することに重きを置き、ベンチャービジネスに関わる考え方を体系的に理解すること、特にイノベーションを起こす企業を理論的に理解することを目的とする。	体系的な理論学習を踏まえ、ケース検討の過程では、個人分析→ペア分析→クラス全体分析のステップを踏み、多様な考え方があることを知る。学生は、これらのワークショップを通じ、状況に応じた柔軟な事業構想力と戦略策定力の獲得を目標とする。				◎				
マーケティング戦略論Ⅰ M331-239-07	マーケティング戦略論Ⅰでは、マーケティング管理論Ⅰ・Ⅱにおいて習得した知識をもとに、多様な主体によって実践されるマーケティング戦略について、典型的な事例の考察・分析を通じて学習する。	(1)製造業者のマーケティングとサービス業者のマーケティングの差異とその特徴について理解する。 (2)非営利組織のマーケティングと企業の社会貢献活動について理解する。				△	○	◎		
マーケティング戦略論Ⅱ M331-239-08	ライフスタイルの変化や情報技術の進歩などを背景に、消費者の購買行動は多様化・複雑化している。マーケティング戦略論Ⅱでは、このような市場環境の変化に対応する組織のマーケティング戦略について学習する。	(1)消費者の購買行動の変化に起因するマーケティング研究の領域の広がりについて理解する。 (2)今日的なマーケティング課題について自らの視点で分析し、解決を導くアイデアを発想できるようになる。				△	○	◎		
国際コミュニケーションⅠ M231-143-01	The object of the class is to improve and or sharpen our English communication ability by having fun sharing our life experiences, opinions on many topics and our dreams for the future. Each of the following topics has speaking, grammar, pronunciation, listening, writing, and reading exercises.	Improving communication skills in English. Don't be shy in communicating with foreigners.	◎	○						
国際コミュニケーションⅡ M231-143-02	The object of the class is to improve and or sharpen our English communication ability by having fun sharing our life experiences, opinions on many topics and our dreams for the future. Each of the following topics has speaking, grammar, pronunciation, listening, writing, and reading exercises.	Improving communication skills in English. Don't be shy in communicating with foreigners.	◎	○						

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い感性、異文化への深い理解、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力等に関する能力	② 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる能力	① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる能力	① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 自ら新たな事業を企画し運営できる能力	① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 公認会計士や税理士の資格取得等を通じ、社会に貢献できる能力
先端経営講座 A M231-238-24										
先端経営講座 B M231-238-25	ソーシャルビジネスに関するプロジェクトへの参画を通じ、実践的な学びを行う。グループ単位の活動がメインとなり、集団での成果実現に関する感覚も磨かれる。自らの能力を理解し、それらを伸ばすための更なる学習につなげていく。	(1) 成果の達成、(2) 成果達成に関連する個と集団との関係、学外者との関係維持、プロジェクトの厳しさや愉しさなどを実践を通じて生きた言葉で表現できるようになること、(3) 自らの能力理解について表明できるようになることが目標である。		○	◎					
先端経営講座 C M231-238-26										
先端経営講座 D M231-238-27	2030年に向けた国際目標 “SDGs (Sustainable Development Goals)” について、マネジメント、地域、企業、国際ビジネス等の視点から講義を行うものです。講義にはSDGsの実践や理論に通じた専門家の登壇も仰ぎ、SDGsの枠組みや、その背景にある理論、アプローチを取り上げ、解説を付すとともに、先進的な取り組みについて、その実践、展開例を交えて説明を行います。	SDGsの枠組み、SDGsに関連するトピック、背景にある理論、アプローチについて学び、企業その他の組織において展開されているSDGsへの理解を深めること、そして学修した知識を活用しながら、現実問題に関連づけて説明できることが授業の目標の1つとなります。	◎	◎	○		○		○	
バーチャルカンパニー I A M231-238-28	本講義は、1年間を通じ、仮想企業を立ち上げ、起業に当たって求められる創造力、持続力、チャレンジ精神、行動力の重要性を体験的に学習する。また、学生複数人を1チームとする協働を基本とし、各人の能力の相互作用、組織マネジメントを試行錯誤で実践する。	企業と協力リアルな商品の開発、トレードフェア等への出展を目的として、春セメスタでは、社会課題の発見、課題克服のビジネスアイデア創出、企画書作成を行い、共同開発パートナーを発掘することを到達目標とする。	◎	◎		◎		◎		

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い ①							

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い感性、異文化への深い理解、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力等に関する能力	② 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる能力	① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる能力	① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 自ら新たな事業を企画し運営できる能力	① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 公認会計士や税理士の資格取得等を通じ、社会に貢献できる能力
キャリア構想講座B M131-238-33	①会計の知識を活かした職業(会計専門職)の具体的な業務の内容や業務の進め方、②各種会計専門職に就くための要件、③各種会計専門職において現在取り組まれている課題や今後の問題点などを講義します。なお、講義は、現職の会計専門職の方々がオムニバス形式で行います。	①会計専門職（公認会計士）の行う独占業務（保証業務）とその他の業務（会計業務・税務業務・コンサルティング業務）がどのようなものか理解できるようになります。 ②会計専門職（公認会計士または税理士）の資格を得るためにどのような勉強をすればよいか、会計専門職として働くにはどのような知識が必要か知ることができます。 ③会計専門職として働く上で解決しなければならない最新の課題を知ることができます。 ④一般企業において、会計の知識がどのように活かされているか、またどのような場面で、どのような業務を会計専門職に依頼することになるのか、知ることができます。			△			△	○	◎
キャリア構想講座C M131-238-34	本科目は、トランコム株式会社の寄付講座。講師はトランコム株式会社の役員・幹部社員、若手社員がそれぞれのテーマごとに担当する。	物流の基礎知識習得、実例によるシミュレーション等、様々な視点から社会における物流全体の理解を目標とします。	△	○	○		◎			
財政学A M231-234-01	国の歳出・歳入構造及び予算制度を学んだ上で、財政赤字問題、税制改革及び社会保障財政を検討する。最終的には高齢社会における財政健全化及び持続可能な財政運営について理解を深めたい。	国の財政制度を体系的に理解できるとともに、財政赤字の要因とその解消、高齢社会を乗り切るための「税・社会保障の一体改革」について、自らの政策論を展開できる能力を培う。		◎		△			○	
財政学B M231-234-02	国の歳出・歳入構造及び予算制度を学んだ上で、財政赤字問題、税制改革及び社会保障財政を検討する。最終的には高齢社会における財政健全化及び持続可能な財政運営について理解を深めたい。	国の財政制度を体系的に理解できるとともに、財政赤字の要因とその解消、高齢社会を乗り切るための「税・社会保障の一体改革」について、自らの政策論を展開できる能力を培う。		◎		△			○	
アントレプレナーシップ 入門 M131-738-04	製品・サービス開発を通して、自ら新しい何かを生み出せる起業家のような精神（アントレプレナーシップ）を学びます。新規事業、起業などに必要な知識について、皆さんと議論を深め、横断的な知識の必要性を理解します。	1. 問いを見つける重要性を理解する 2. デザイン思考を説明できる 3. チームで働く力を身につける 4. 新規事業、起業などに必要な横断的な知識の必要性を理解する	○	○	○	○	○	○		

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュ ニケーション力等 に関する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を見 出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
サービス・ マーケティング論 M231-239-09	経済のソフト化あるいはサービス化が進展する昨今、従前のマーケティング発想のみならず「サービス」を中心に議論するサービス・マーケティングの重要性が高まっている。本授業では、「サービス」の特性とそれに応じた企業活動について考察する。本授業は、パワーポイントを使用する講義を中心にすすめ、その他、必要に応じてケースメソッドや映像資料等の活用を予定している。	本授業の到達目標は、以下の3点である。 (1) 製造業のマーケティングとサービスのマーケティングの差異を説明することができる。 (2) サービスの特性について理解し、それらに応じたマーケティング戦略を立案できる。 (3) 習得した諸戦略の知識に基づいて、実際の企業戦略について分析できる。	○	◎			○	◎		
ブランド・ マネジメント論 M331-239-10	本授業ではマーケティングの視点から組織のブランド・マネジメントを考察する。また、前述の視点から、いくつかの事例を紹介しながら、多様な主体によって実践されるマーケティングについて学修する。本授業は、パワーポイントを使用する講義を中心にすすめ、その他、必要に応じてケースメソッドや映像資料等の活用を予定している。	本授業の到達目標は、以下の3点である。 (1) マーケティング・ミックスと関連諸戦略について説明できる。 (2) ブランドの役割と戦略的課題について論じることができる。 (3) 習得した諸戦略の知識に基づいて、実際の企業戦略について分析できる。	○	○			◎	◎		
消費者行動論 M231-239-11	企業は自社の財やサービスを売るために、それに相応しいマーケティング戦略を遂行します。優れたマーケティング戦略を構築するためには、消費の意思決定主体である消費者の理解を欠くことはできません。その主体である消費者の意思決定メカニズムについて基礎的な知識を身に着けます。	消費者行動の基礎的な知識を学び、消費者が買い物の意思決定に至るメカニズムの説明が可能な水準を目指します。また、企業がどのようにそれらの消費者行動の知識をマーケティング活動に活用しているかについて、実例を用いて理解を深め、理論と企業のマーケティング活動との関連付けが可能な水準を目指します。	○	○			○	◎		
アプリケーション開発 I M231-601-03	ビジネスにおいてはICTをうまく活用することが重要になっている。本講義では特にスマートフォンアプリを取り上げ、そのプログラミングを実際に行うことを通じて、その意義や活用方法について学ぶ。また、グループワークなどの演習を通じて、自らシンプルなスマートフォンアプリを企画、設計し、開発できる力を身につけることを狙いとする。	スマートフォンアプリ開発において必要となるプログラミング技術を取り上げ、実際に開発に取り組むことを通じて、どのように開発すればよいか、それによって何ができるのか、企業経営にどう生かせるのかを理解する。授業を通じて、スマートフォンアプリを独自に企画、設計し、開発できるようになることをめざす。	○	○			○	◎		

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い感性、異文化への深い理解、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力等に関する能力	② 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる能力	① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる能力	① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 自ら新たな事業を企画し運営できる能力	① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 公認会計士や税理士の資格取得等を通じ、社会に貢献できる能力
アプリケーション開発Ⅱ M231-601-04	アプリケーション開発Ⅰで学んだことをさらに発展させ、より高度なスマートフォンアプリの開発に取り組む。プログラミングを実際に行うことを通じて、スマートフォンアプリに関する理解を深め、その活用のさらなる可能性について考える。本講義の受講により、自らビジネスで利用できるスマートフォンアプリを企画、設計し、開発できる力を身につけることを狙いとする。	アプリケーション開発Ⅰに続いてスマートフォンアプリ開発において必要となるプログラミング技術を取り上げ、さらに発展的なスマートフォンアプリの開発に取り組むことを通じて、その開発方法や、応用の可能性、ビジネスにおける意義を理解する。授業を通じて、ビジネスでも活用できるようなスマートフォンアプリを独自に企画、設計し、開発できるようにすることをめざす。	○	○			○	◎		
簿記特講Ⅰ M131-240-19										
簿記特講Ⅱ M131-240-20										
簿記特講Ⅲ M131-240-21										
簿記特講Ⅳ M131-240-22										
経営と法務 M231-216-01	本講義では、会社についての法的な概念について学んだ上で、会社法の内容の中核である株式会社をめぐる法規制の基礎を学ぶ。	会社の役員が会社の運営を行ううえで遵守しなければならない規範の基礎を理解することができる。また、法的視点から見た株式会社のあり様についての知識が身につく。		◎	○				○	△
経営と税務 M231-212-01	本講義では、最近の租税に関する事例を題材として、租税法の基本原則、税金の種類と計算方法、申告と納税、税務調査と不服申立てなど基本的事項を修得する。	租税法の基礎知識を修得することができる。これにより、経済取引における予測可能性を確保するための税務の知識を養うことができる。		◎		△		△	○	○

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い ② 社会の種々の課 ③ 社会の種々の課 ④ 社会の種々の課 ⑤ 社会の種々の課 ⑥ 社会の種々の課 ⑦ 社会の種々の課 ⑧ 社会の種々の課 ⑨ 社会の種々の課 ⑩ 社会の種々の課 ⑪ 社会の種々の課 ⑫ 社会の種々の課 ⑬ 社会の種々の課 ⑭ 社会の種々の課 ⑮ 社会の種々の課 ⑯ 社会の種々の課 ⑰ 社会の種々の課 ⑱ 社会の種々の課 ⑲ 社会の種々の課 ⑳ 社会の種々の課 ㉑ 社会の種々の課 ㉒ 社会の種々の課 ㉓ 社会の種々の課 ㉔ 社会の種々の課 ㉕ 社会の種々の課 ㉖ 社会の種々の課 ㉗ 社会の種々の課 ㉘ 社会の種々の課 ㉙ 社会の種々の課 ㉚ 社会の種々の課 ㉛ 社会の種々の課 ㉜ 社会の種々の課 ㉝ 社会の種々の課 ㉞ 社会の種々の課 ㉟ 社会の種々の課 ㊱ 社会の種々の課 ㊲ 社会の種々の課 ㊳ 社会の種々の課 ㊴ 社会の種々の課 ㊵ 社会の種々の課 ㊶ 社会の種々の課 ㊷ 社会の種々の課 ㊸ 社会の種々の課 ㊹ 社会の種々の課 ㊺ 社会の種々の課 ㊻ 社会の種々の課 ㊼ 社会の種々の課 ㊽ 社会の種々の課 ㊾ 社会の種々の課 ㊿ 社会の種々の課	② 社会の種々の課 ③ 社会の種々の課 ④ 社会の種々の課 ⑤ 社会の種々の課 ⑥ 社会の種々の課 ⑦ 社会の種々の課 ⑧ 社会の種々の課 ⑨ 社会の種々の課 ⑩ 社会の種々の課 ⑪ 社会の種々の課 ⑫ 社会の種々の課 ⑬ 社会の種々の課 ⑭ 社会の種々の課 ⑮ 社会の種々の課 ⑯ 社会の種々の課 ⑰ 社会の種々の課 ⑱ 社会の種々の課 ⑲ 社会の種々の課 ⑳ 社会の種々の課 ㉑ 社会の種々の課 ㉒ 社会の種々の課 ㉓ 社会の種々の課 ㉔ 社会の種々の課 ㉕ 社会の種々の課 ㉖ 社会の種々の課 ㉗ 社会の種々の課 ㉘ 社会の種々の課 ㉙ 社会の種々の課 ㉚ 社会の種々の課 ㉛ 社会の種々の課 ㉜ 社会の種々の課 ㉝ 社会の種々の課 ㉞ 社会の種々の課 ㉟ 社会の種々の課 ㊱ 社会の種々の課 ㊲ 社会の種々の課 ㊳ 社会の種々の課 ㊴ 社会の種々の課 ㊵ 社会の種々の課 ㊶ 社会の種々の課 ㊷ 社会の種々の課 ㊸ 社会の種々の課 ㊹ 社会の種々の課 ㊺ 社会の種々の課 ㊻ 社会の種々の課 ㊼ 社会の種々の課 ㊽ 社会の種々の課 ㊾ 社会の種々の課 ㊿ 社会の種々の課	① 組織、マネジメン ② 将来経営者また ③ 将来経営者また ④ 将来経営者また ⑤ 将来経営者また ⑥ 将来経営者また ⑦ 将来経営者また ⑧ 将来経営者また ⑨ 将来経営者また ⑩ 将来経営者また ⑪ 将来経営者また ⑫ 将来経営者また ⑬ 将来経営者また ⑭ 将来経営者また ⑮ 将来経営者また ⑯ 将来経営者また ⑰ 将来経営者また ⑱ 将来経営者また ⑲ 将来経営者また ⑳ 将来経営者また ㉑ 将来経営者また ㉒ 将来経営者また ㉓ 将来経営者また ㉔ 将来経営者また ㉕ 将来経営者また ㉖ 将来経営者また ㉗ 将来経営者また ㉘ 将来経営者また ㉙ 将来経営者また ㉚ 将来経営者また ㉛ 将来経営者また ㉜ 将来経営者また ㉝ 将来経営者また ㉞ 将来経営者また ㉟ 将来経営者また ㊱ 将来経営者また ㊲ 将来経営者また ㊳ 将来経営者また ㊴ 将来経営者また ㊵ 将来経営者また ㊶ 将来経営者また ㊷ 将来経営者また ㊸ 将来経営者また ㊹ 将来経営者また ㊺ 将来経営者また ㊻ 将来経営者また ㊼ 将来経営者また ㊽ 将来経営者また ㊾ 将来経営者また ㊿ 将来経営者また	② 将来経営者また ③ 将来経営者また ④ 将来経営者また ⑤ 将来経営者また ⑥ 将来経営者また ⑦ 将来経営者また ⑧ 将来経営者また ⑨ 将来経営者また ⑩ 将来経営者また ⑪ 将来経営者また ⑫ 将来経営者また ⑬ 将来経営者また ⑭ 将来経営者また ⑮ 将来経営者また ⑯ 将来経営者また ⑰ 将来経営者また ⑱ 将来経営者また ⑲ 将来経営者また ⑳ 将来経営者また ㉑ 将来経営者また ㉒ 将来経営者また ㉓ 将来経営者また ㉔ 将来経営者また ㉕ 将来経営者また ㉖ 将来経営者また ㉗ 将来経営者また ㉘ 将来経営者また ㉙ 将来経営者また ㉚ 将来経営者また ㉛ 将来経営者また ㉜ 将来経営者また ㉝ 将来経営者また ㉞ 将来経営者また ㉟ 将来経営者また ㊱ 将来経営者また ㊲ 将来経営者また ㊳ 将来経営者また ㊴ 将来経営者また ㊵ 将来経営者また ㊶ 将来経営者また ㊷ 将来経営者また ㊸ 将来経営者また ㊹ 将来経営者また ㊺ 将来経営者また ㊻ 将来経営者また ㊼ 将来経営者また ㊽ 将来経営者また ㊾ 将来経営者また ㊿ 将来経営者また	① 開発、生産、物 ② 自ら新たな事業 ③ 自ら新たな事業 ④ 自ら新たな事業 ⑤ 自ら新たな事業 ⑥ 自ら新たな事業 ⑦ 自ら新たな事業 ⑧ 自ら新たな事業 ⑨ 自ら新たな事業 ⑩ 自ら新たな事業 ⑪ 自ら新たな事業 ⑫ 自ら新たな事業 ⑬ 自ら新たな事業 ⑭ 自ら新たな事業 ⑮ 自ら新たな事業 ⑯ 自ら新たな事業 ⑰ 自ら新たな事業 ⑱ 自ら新たな事業 ⑲ 自ら新たな事業 ⑳ 自ら新たな事業 ㉑ 自ら新たな事業 ㉒ 自ら新たな事業 ㉓ 自ら新たな事業 ㉔ 自ら新たな事業 ㉕ 自ら新たな事業 ㉖ 自ら新たな事業 ㉗ 自ら新たな事業 ㉘ 自ら新たな事業 ㉙ 自ら新たな事業 ㉚ 自ら新たな事業 ㉛ 自ら新たな事業 ㉜ 自ら新たな事業 ㉝ 自ら新たな事業 ㉞ 自ら新たな事業 ㉟ 自ら新たな事業 ㊱ 自ら新たな事業 ㊲ 自ら新たな事業 ㊳ 自ら新たな事業 ㊴ 自ら新たな事業 ㊵ 自ら新たな事業 ㊶ 自ら新たな事業 ㊷ 自ら新たな事業 ㊸ 自ら新たな事業 ㊹ 自ら新たな事業 ㊺ 自ら新たな事業 ㊻ 自ら新たな事業 ㊼ 自ら新たな事業 ㊽ 自ら新たな事業 ㊾ 自ら新たな事業 ㊿ 自ら新たな事業	① 会計に関する諸 ② 公認会計士や税 ③ 公認会計士や税 ④ 公認会計士や税 ⑤ 公認会計士や税 ⑥ 公認会計士や税 ⑦ 公認会計士や税 ⑧ 公認会計士や税 ⑨ 公認会計士や税 ⑩ 公認会計士や税 ⑪ 公認会計士や税 ⑫ 公認会計士や税 ⑬ 公認会計士や税 ⑭ 公認会計士や税 ⑮ 公認会計士や税 ⑯ 公認会計士や税 ⑰ 公認会計士や税 ⑱ 公認会計士や税 ⑲ 公認会計士や税 ⑳ 公認会計士や税 ㉑ 公認会計士や税 ㉒ 公認会計士や税 ㉓ 公認会計士や税 ㉔ 公認会計士や税 ㉕ 公認会計士や税 ㉖ 公認会計士や税 ㉗ 公認会計士や税 ㉘ 公認会計士や税 ㉙ 公認会計士や税 ㉚ 公認会計士や税 ㉛ 公認会計士や税 ㉜ 公認会計士や税 ㉝ 公認会計士や税 ㉞ 公認会計士や税 ㉟ 公認会計士や税 ㊱ 公認会計士や税 ㊲ 公認会計士や税 ㊳ 公認会計士や税 ㊴ 公認会計士や税 ㊵ 公認会計士や税 ㊶ 公認会計士や税 ㊷ 公認会計士や税 ㊸ 公認会計士や税 ㊹ 公認会計士や税 ㊺ 公認会計士や税 ㊻ 公認会計士や税 ㊼ 公認会計士や税 ㊽ 公認会計士や税 ㊾ 公認会計士や税 ㊿ 公認会計士や税	② 公認会計士や税 ③ 公認会計士や税 ④ 公認会計士や税 ⑤ 公認会計士や税 ⑥ 公認会計士や税 ⑦ 公認会計士や税 ⑧ 公認会計士や税 ⑨ 公認会計士や税 ⑩ 公認会計士や税 ⑪ 公認会計士や税 ⑫ 公認会計士や税 ⑬ 公認会計士や税 ⑭ 公認会計士や税 ⑮ 公認会計士や税 ⑯ 公認会計士や税 ⑰ 公認会計士や税 ⑱ 公認会計士や税 ⑲ 公認会計士や税 ⑳ 公認会計士や税 ㉑ 公認会計士や税 ㉒ 公認会計士や税 ㉓ 公認会計士や税 ㉔ 公認会計士や税 ㉕ 公認会計士や税 ㉖ 公認会計士や税 ㉗ 公認会計士や税 ㉘ 公認会計士や税 ㉙ 公認会計士や税 ㉚ 公認会計士や税 ㉛ 公認会計士や税 ㉜ 公認会計士や税 ㉝ 公認会計士や税 ㉞ 公認会計士や税 ㉟ 公認会計士や税 ㊱ 公認会計士や税 ㊲ 公認会計士や税 ㊳ 公認会計士や税 ㊴ 公認会計士や税 ㊵ 公認会計士や税 ㊶ 公認会計士や税 ㊷ 公認会計士や税 ㊸ 公認会計士や税 ㊹ 公認会計士や税 ㊺ 公認会計士や税 ㊻ 公認会計士や税 ㊼ 公認会計士や税 ㊽ 公認会計士や税 ㊾ 公認会計士や税 ㊿ 公認会計士や税	
総合民法 M231-216-02	民法の中で、財産の帰属や取引に関わる財産法について学ぶ。財産法の基礎にあたる民法総則、物の帰属や移転に関わる物権法、契約や貸金の回収に関わる債権法の中から、経済活動にとって特に重要な項目について学習する。	民法についての大まかな知識を獲得することができる。問題が生じた際に、その問題を解決するための考え方を身につけることができる。		◎	○				△	△
中部経済論 M231-234-03	〔財務省東海財務局の提携講座〕 財務本省及び東海財務局などの現役財務省職員が講師として登壇し、財務省・金融庁の視点から「財政」「税制」「金融」等について講義が展開される。	財政、金融及び経済等に関する実践的な知識を身につける。		◎					○	
地域ビジネス論 M231-239-12	本講義のテーマは、商業を中心に地域に根差したビジネスの活性化策を模索することです。停滞または衰退地域のビジネス（商業集積、商店）の活性化およびまちづくりを進めるための理論的枠組みと実践的手法を学びます。	地域ビジネス活性化はまちづくりと関連することから、履修者が、地域資源調査、街区調査、立地分析、都市計画、生活者行動調査等々の手法により問題を分析し、地域ビジネス活性化とまちづくりの提言ができる能力を身につけることができます。		○			◎	○		
エリア・リサーチ A M231-234-04	地域経済の振興を担うシンクタンク（政策研究機関）である中部圏社会経済研究所と連携し、地域経済を分析するために必要な知識や事例等を学ぶ。	地域経済に関する知識、経済分析手法の把握する素養、それらを駆使して地域経済に対する提案を行う力、さらにフィールドワークを行うことで協働の実践力が身につく。		◎			△		△	
エリア・リサーチ B M231-239-13	この講義では、中部地域に立地する企業の事例研究を行います。この事例研究は、我が国の中でも製造業が集積する地域のひとつである中部地域の製品戦略を組織間関係の視点で学習することにあります。	この講義では、製品化、組織間関係、ブランド戦略を中心に、中部地区における企業の事例研究を通して企業の優位性と課題を見出す力を養っていきます。そのためには、マーケティング関連科目の理解も深めていきます。		△			○	◎		
エリア・リサーチ C M231-238-35	ソーシャルビジネスに関するプロジェクトへの参画を通じ、実践的な学びを行う。グループ単位の活動がメインとなり、集団での成果実現に関する感覚も磨かれる。自らの能力を理解し、それらを伸ばすための更なる学習につなげていく。	(1) 成果の達成、(2) 成果達成に関連する個と集団との関係、学外者との関係維持、プロジェクトの厳しさや楽しさなどを実践を通じて生きた言葉で表現できるようになること、(3) 自らの能力理解について表明できるようになることが目標である。		○	◎					

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュ ニケーション力等 に関する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を 見出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
基礎演習 M212-841-01	基礎演習は、小規模クラスで実施される演習スタイルの授業です。秋学期から開かれる専門演習Ⅰへの橋渡しの授業と考えて下さい。各教員が4回ずつ担当し、講義を行い、課題を提示していきます。専門的な演習形式の授業の進め方を理解してもらうことが目的です。	基礎演習において与えられる各教員の課題をこなすことにより、秋学期からスタートする専門演習への興味を喚起するとともに、専門演習において必要な基礎知識やスキルの修得を目指します。	◎	◎						
専門演習Ⅰ M231-842-01	経営学の学習、研究方法・論文執筆の基本的なノウハウなどを学ぶとともに、演習テーマに関連する基礎的な文献の輪読、テーマごとの調査などを行ったうえで、少人数による討論を行い、専門分野の基礎的理解を習得する。	専門分野の基礎的内容を理解できるとともに、文献、資料の読み方、文献、資料やデータの収集方法、レジュメの書き方、プレゼンテーションと討論の仕方といった、基礎的能力を身につけ、それを実践することができる。	◎	◎						
専門演習Ⅱ M332-842-02	演習テーマに関連する問題についてさらに文献・資料を読み進み、発表、討論するなかでテーマを掘り下げていき、各自の研究テーマを探る。	専門的問題、各分野基礎理論について理解を深め、プレゼンテーションを行うことができる。また、討論を通じて課題を解決させている能力を身につけることができる。	◎	◎						
専門演習Ⅲ M332-842-03	より専門的な文献読解やデータ分析をおこない、各自の研究を進化させていく。さらに発表、討論などを通じてその理解を深める。	専門的な個人研究テーマを設定して、それに関する研究を主体的に進めることができ、課題を解決する力を身につけて卒業論文を構想することができる。	◎	◎						
専門演習Ⅳ M432-842-04	専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで得た知識、能力をもとに、オリジナリティのある研究テーマを決定して、それに関連する文献の収集と精読を行い、研究を進める。	これまでに得た知見をもとに、オリジナリティのあるテーマを設定できる。さらに、研究テーマに関する参考文献、資料やデータを適切に広く収集し、研究・分析に活用できる。	◎	◎						
専門演習Ⅴ M432-842-05	専門演習Ⅳで決めた研究を完成させるべく、検討、分析を行い、それを発表し、討論を行っていく。	研究内容を発表し、討論する中で、研究をリファインして完成させることができる。	◎	◎						
卒業論文 M436-845-01	これまでの専門演習行ってきた研究、講義等で得た知識、能力をもとに、卒業論文のテーマを具体的に決定して、それに関連する文献の収集と精読を行い、論文の完成させる	卒業論文のテーマに関する参考文献やデータを適切に収集し、論点整理を行い、研究目的を明確にしたうえで仮説を設定し、研究することができる。その腕、論文構成を適切に構築し、論理的に文章や数式、分析結果を用いて論文を執筆することができる。	◎	◎						
ビジネス英語Ⅰ M231-143-03	英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストであるTOEIC®は、グローバルスタンダードとして社会の様々な場面で活用が進んでいる。このクラスではTOEIC®の試験形式を学び、基本的な出題事項を学習する。	本講義では、TOEICテストの対策学習を通じて、「ビジネス英語の基礎」を習得する。	◎	○						

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュニ ケーション力等に関 する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を 見出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
ビジネス英語Ⅱ M231-143-04	英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストであるTOEIC®は、グローバルスタンダードとして社会の様々な場面で活用が進んでいる。このクラスではTOEIC®の試験形式を学び、基本的な出題事項を学習する。	本講義では、TOEICテストの対策学習を通じて、「ビジネス英語のlistening skill・reading skillの基礎力」を身につける。	◎	○						
ビジネス英語Ⅲ M331-143-05	英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストであるTOEIC®は、グローバルスタンダードとして社会の様々な場面で活用が進んでいる。このクラスではTOEIC®の試験形式を学び、基本的な出題事項を学習する。	就職活動での提出書類に、TOEICテストのスコアの記入を求める企業が増加している。本講義では、TOEICテストのスコア・アップに向けて、「ビジネス英語のlistening skill・reading skillの応用力」を身につける。	◎	○						
ビジネス英語Ⅳ M331-143-06	英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストであるTOEIC®は、グローバルスタンダードとして社会の様々な場面で活用が進んでいる。このクラスではTOEIC®の試験形式を学び、基本的な出題事項を学習する。	就職活動での提出書類に、TOEICテストのスコアの記入を求める企業が増加している。本講義では、企業側が求める「ビジネス英語の総合力」を身につける。	◎	○						
海外体験演習 M232-852-01	日本企業では海外での生産、販売の拡大によりグローバル化が進んでいます。特にアジア諸国との国際取引が多く行われています。この授業では実際、夏休み期間に、日系企業・現地企業の視察、現地大学との交流などを通して、海外進出の実態を学びます。	海外経験のない学生が、実際に海外に行く時に気をつける事、マナー、習慣などを身につける事により、日系企業が海外にどんな目的で進出したのか、どんな苦労があるのか、どう克服したのかなどを身につける事が目標です。	◎	○						
ビジネス情報リテラシーⅠ M131-601-05	初心者を対象にInternet、Word、Excel、PowerPointに関する知識と技術を学ぶ。	情報リテラシーⅠ、情報リテラシーⅡの授業を受講することにより、4年間の経営学部の講義や実習に必要な情報処理の基礎的な能力を習得する。		◎	○		○			
ビジネス情報リテラシーⅡ M131-601-06	情報リテラシーⅠに引き続いて、Internet、Word、Excel、PowerPointに関する知識と技術を学ぶ。	情報リテラシーⅠ、情報リテラシーⅡの授業を受講することにより、4年間の経営学部の講義や実習に必要な情報処理の基礎的な能力を習得する。		◎	○		○			

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い感性、異文化への深い理解、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力等に関する能力	② 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる能力	① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる能力	① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 自ら新たな事業を企画し運営できる能力	① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 公認会計士や税理士の資格取得等を通じ、社会に貢献できる能力
経営管理実習 I A M231-238-36	いまみなさんが日常生活の中で当たり前のように利用している製品やサービスも、いつかの時点でどこかの企業または企業家が市場に導入したことは間違いありません。それらはどのようにして生まれ、どのようにして市場を獲得したのでしょうか。この授業は、それを知ることによって、次なるイノベーション（新製品・新サービス）を起こす方法を探ってほしいと思います。	私たちの生活を変えた画期的な新製品や新サービスを、企業ないし企業家の観点から分析し、それぞれの成功要因を取り出していきます。そのなかから、経営学部で学んだ経営学の知識を参照しながら、成功的なイノベーションに必要な組織やマーケティングのあり方を自ら考え、提示できるようにします。		○		○	△	◎		
経営管理実習 I B M231-239-14	新聞やニュースなどで掲載されている実際の企業の戦略的行動の事例をもとに、「なぜそれが生じたのか」を分析します。そして、それらを論理的にまとめた上でプレゼンテーションを行います。	(1) ニュースなどをくまなく見つめて、社会的に重要な企業の事例を発見できるようになること。 (2) 企業の戦略的行動が生じたメカニズムを明らかにしたうえで、それを論理的に報告できるようになること。	△	○	◎		○			
経営管理実習 I C M231-240-23	インターネットによる企業データの収集とパソコンソフトを用いたデータ分析の手法を学びます。PCを使って、データの収集、財務諸表の読み方、分析の仕方、データ送信等ができるようになります。	本講義では、現代社会に欠かすことのできなくなったIoTへの知識と、情報をデータ化してそれを利用する能力を身につけることができる。		◎					○	○
経営管理実習 I D M231-601-07	初めて経営科学的手法に接する学生を対象として、講義内容を組み立てている。本講では、実用性の高い経営分析手法である、包絡分析法をとりあげて、意思決定の際に有用となる経営科学的な考え方・見方を学習する。表計算ソフトを活用する。	経営学分野での諸問題に対し、数理科学的視点に基づく解決の方法を修得することが可能となる。Excelを駆使して、事業体の経営効率を測定する有力な方法である包絡分析法が修得できる。		◎	○		○		△	
経営管理実習 II A M331-238-37	企業における経営管理および人材マネジメントについての理解を基盤とし、キャリア・デザイン力を高めるために、情報力・読解力・プレゼンテーション能力を磨きなおすとともに、多種多様な企業のマネジメント、人事、働き方の態様について考察を深める。	経営管理および人材マネジメントの展開について学び、各回の課題に取り組むことをつうじて、企業・組織におけるヒトの行動、意思決定について、受講生のそれぞれが自らの身に引き寄せて考え、キャリア・デザインへの態勢を構築できるようになる。	◎	△		○		○		
経営管理実習 II B M331-239-15	21世紀になり産業活動とともに企業行動のグローバル化が、ますます進展してきている。このような最新動向を踏まえ、企業研究や業界研究として多くの事例をもとに実践的な知識を習得する。	産業活動とそれとともに企業行動に関する実践的な知識を習得するために、ケース・スタディ（事例研究）を中心に考察と分析を加え、最終的には経営管理に関する理論が体系的に把握できるようになる。	◎	○		△		△		

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い 感性、異文化への 深い理解、多様な 価値観を持つ人々 と積極的に意思疎 通のできるコミュニ ケーション力等に関 する能力	② 社会の種々の課 題を発見し、関連 する情報の収集・ 分析・思考を通じ て、解決を模索で きる能力	① 組織、マネジメ ントに関する諸問 題を把握・分析し 、解決方法を見出 せる能力	② 将来経営者また は管理者になった 際に求められる、 必要な経営資源を 適切に管理できる 能力	① 開発、生産、物 流、販売に関する 諸問題を把握・分 析し、解決方法を見 出せる能力	② 自ら新たな事業 を企画し運営でき る能力	① 会計に関する諸 問題を把握・分析 し、解決方法を見 出せる能力	② 公認会計士や税 理士の資格取得等 を通じ、社会に貢 献できる能力
経営管理実習Ⅱ C M331-240-24	本科目では、社会人になってから必要とされるソフトの中で、ビジネスデータの操作・分析に威力を発揮するExcelを取り上げ、例題を通してExcelが持つ多彩な機能を学習します。	本科目の目標は、Excelの実習を通して、 1) ビジネスデータを処理し易い形に集計する、 2) ビジネスデータをグラフ化し、問題点を洗い出し、簡単な経営・財務分析を行う、 ことができるようになることです。		○		△	○			
経営管理実習Ⅱ D M331-601-08	企業では、経営戦略立案や業務改善などにおいて、論理的に考える能力が求められている。論理的思考の方法として広く利用されているロジカルシンキングとフレームワーク思考について学ぶ。	ロジカルシンキングとフレームワーク思考の基本的な考え方や手法を修得するとともに、ケーススタディを通じて経営戦略立案や業務改善などへの応用力を高める。		◎	○	○	○	○		
ビジネス・ゲーム実習 M131-238-38	ビジネスゲームを繰り返し実施し、経営とは何かを体験的に学ぶ。ゲームを通じて、経営意思決定が、限られた情報に基づいて様々な影響を考慮しながら行われることを理解することが狙いである。	少人数のチームを編成し、ゲーム内のビジネスに関する意思決定を行い、チーム間で業績を競う。業績は、意思決定や環境要因の変化によって変わるため、与えられたデータを分析して意思決定する。分析には、経営、会計、経済の基礎知識が必要となる。また、定期的に意思決定の内容と経営成績を関連づけて発表する。ゲームを通じて自ら意思決定する能力を養うことが目標である。	○	○		○	○		○	
キャリア・デザインⅠ M131-861-01	本講座では、言語能力の基礎から応用をもう一度確認し、しっかりとした日本語の能力を身につけることを目標とします	敬語や言葉の用法なども含めた日本語の正しい理解ができる。 正しい日本語を用いて、相手にわかりやすい文章の作成ができる。	○	○						
キャリア・デザインⅡ M131-861-02	本講座では、数学および経済の基本やそれに関連する文章題に取り組むことによって、物事を考え解決していく力を身につけます。	数学の基礎を理解し、正確に解答できる。 基本的な数学の文章題の解法・公式を活用し、論理的に展開しながら、解答を導くことができる。	○	○						
キャリア・デザインⅢ M231-861-03	就職筆記試験で扱われる言語分野と一般常識について扱います。これらは、社会人となった後も基礎学力として必須の知識です。政治、経済、国際社会など日頃のニュースから身近な話題も取り上げながら、各項目とも実践的に学力アップを図ります。	文章作成の基礎となる日本語の理解があり、それを活用できる。 政治、経済、国際社会など社会の動きを理解し、社会分野を中心に一般常識が身に付いている。	○	○						
キャリア・デザインⅣ M231-861-04	数学における論理的思考を身に着けることを中心に、SPI非言語問題を交えながら、その基本的な解法を解説・指導します。問題演習をたくさん取り入れることで無理なく基本を習得して頂きます。	数学の文章題を論理的に式の展開をし、解答を導くことができる。 就職試験のSPIⅠをはじめとする計数問題に対応できる基礎力が身に付いている。	○	○						

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー（DP）							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い感性、異文化への深い理解、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力等に関する能力	② 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる能力	① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる能力	① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 自ら新たな事業を企画し運営できる能力	① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 公認会計士や税理士の資格取得等を通じ、社会に貢献できる能力
キャリア・デザインⅤ M331-861-05	言語分野と一般常識問題の対策として問題演習を中心に進めます。これからは、社会人となったあとも基礎学力として必須の項目です。実践的に学力アップを図りながら、就職試験対策を進めます。	就職試験におけるSPIの言語分野の問題を理解し、正確に解答ができる。 社会分野を中心に一般常識が身に付いており、就職活動の様々な場面で活用ができる。	○	○						
キャリア・デザインⅥ M331-861-06	数学の問題、SPI非言語問題の演習を徹底して行います。就職試験を控えた方にとっては、SPIを初めとした筆記試験対策の準備ができます。	数学の文章問題を論理的に式の展開をし、解答を導くことができます。 SPIの非言語分野の問題に充分対応できる解法と計算力が身に付いている。	○	○						
産官民提携講座Ⅰ 税理士による租税講座 M231-861-07	税務の専門家である税理士から、税法、税制や会計について学び、税法と税理士の関わりや税理士業務の意義と役割について学ぶ。	税法、税制や会計の基本を理解し、租税に関する法や法理論の機能と課題等、税務の実態を知り、税理士業務の意義について説明できる。							△	○
産官民提携講座Ⅱ M231-861-08	「自分事」としてSDGs（持続可能な開発目標）の推進に関わり、他者や社会を巻き込んで、SDGsの達成に貢献するために必要な知識を幅広く学ぶ。	(1)SDGsの基本（理念、歴史、現状、未来）を説明できる。 (2)身近なトピックに即してSDGsの重要性を説明できる。 (3)「自分事」としてSDGsを捉え、SDGsの達成に資する具体的な行動変容のあり方を提案、説明できる。								
産官民提携講座Ⅲ M231-861-09	「サステナブル・スマート」を目指す名城公園キャンパスの構想から建築に関わった実務家、省CO ₂ の効果測定に携わる研究者を招聘し、キャンパスをフィールドとして理想と現実を行き来しながら実際に学ぶ。	まず地球温暖化と都市温暖化の実態を理解し、次いで省CO ₂ を実現する需要と供給両側面のエネルギー・マネジメントについて、工学的及び建築学的条件の最先端技術を学ぶことを目標とする。	○	◎						
産官民提携講座Ⅳ （地域連携学A） M231-861-10	社会問題の解決に貢献するソーシャルビジネスの創業・経営者を講師として招聘し、産官では対応できない問題に市民セクターがどのような取り組みをしているかを学ぶ。	第1に社会問題と解決策の最先端を学び生活者としての視野を広げ、第2に社会起業家との対話を通じて異文化コミュニケーション能力の向上を目指す。	◎	○						
産官民提携講座Ⅴ （課題解決型演習Ⅰ） M231-861-11	まちづくり、地域活性化等で課題を抱える連携先とともに、課題克服策を検討し、対策を実践するフィールドワーク型の演習である。	地域問題の診断力、解決策の立案力、実務家への提案力と協働を通じた変革推進を支えるプロジェクトマネジメント力等の修得を目標とする。	◎	◎						

経営学部経営学科 カリキュラムマップ			経営学部経営学科のディプロマポリシー (DP)							
授業科目名 科目ナンバー	授業の概要	授業の到達目標	M-DP1		M-DP2		M-DP3		M-DP4	
			すべての学生に求められる能力		組織マネジメントコースを履修した学生に求められる能力		生産マーケティングコースを履修した学生に求められる能力		会計コースを履修した学生に求められる能力	
			M-DP1-1	M-DP1-2	M-DP2-1	M-DP2-2	M-DP3-1	M-DP3-2	M-DP4-1	M-DP4-2
			① 情報に対する高い感性、異文化への深い理解、多様な価値観を持つ人々と積極的に意思疎通のできるコミュニケーション力等に関する能力	② 社会の種々の課題を発見し、関連する情報の収集・分析・思考を通じて、解決を模索できる能力	① 組織、マネジメントに関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 将来経営者または管理者になった際に求められる、必要な経営資源を適切に管理できる能力	① 開発、生産、物流、販売に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 自ら新たな事業を企画し運営できる能力	① 会計に関する諸問題を把握・分析し、解決方法を見出せる能力	② 公認会計士や税理士の資格取得等を通じ、社会に貢献できる能力
産官民提携講座Ⅵ (愛知県社会保険労務士会提供講座) M231-861-12	仕事と職場のルールである「ワークルール」の理解を通じて、労働法・社会保険関連の知識を実例に即して身につけることを目的とする。また、社会保険労務士が取り扱う業務の実際や、社会人になるための基礎知識、職場で生き活きと働くためのノウハウを伝授する。	雇用・労働に係る社会的課題へのアプローチ方法を理解することを目標とする。社会保険労務士の業務内容・活躍のフィールドを学ぶことを通じ、企業・個人にとっての社会保障制度の意義を理解する。	○	◎						
インターンシップ M231-861-13	企業や公的機関におけるインターンシップへの参加を通じて、仕事・組織活動の実際を知り、実践の現場で行動し、業種・業界の知識やノウハウ、最新の企業情報等を入手するとともに、キャリア形成への意欲を高める。また、インターンシップへの準備、実践、報告会でのプレゼンテーション等により、経験共有を行い、知識・ノウハウの定着を促進する。	①ビジネスや公務の現場を知り、職場で求められる業務、スキルのレベル感を体得できる。 ②現実、現場、現物と関わりながら就業体験を行うことで、就業へのレディネスを高められる。 ③インターンシップの経験、習得した知識を活かし、自分自身の就職活動へつなげられる。 ④職場で求められるマナーや立ち振る舞いを理解し、実践できる。	◎	○						
基礎経営実務 M131-861-14 ～M131-861-27										

◎・・・DP達成のために、特に重要な事項

○・・・DP達成のために、重要な事項

△・・・DP達成のために、望ましい事項